

海外CEO商談会
医療機器
CEO商談会2023

開催日時

2024年1月29日(月)
～2月2日(金)

<参加国>

インド インドネシア
オーストリア 韓国 シンガポール
タイ 台湾 ドイツ フィリピン
ベトナム 香港
マレーシア

医療機器CEO商談会2023について

開催日程：2024年1月29日(月)から2月2日(金)

※1月29日(月)～1月31日(水)は一部の海外企業を日本に招聘し、対面での商談を予定。(会場は東京を予定)

募集対象：海外販路開拓、海外展開を目指す中小企業

対象分野：医療機器、ヘルスケア・介護

参加費：1商談につき、オンライン商談の場合は5,500円(税込)、対面での商談の場合は6,600円(税込)

※お申込みは無料で、商談が設定できた場合にのみ参加費が生じます。また、オンライン商談に必要なPC等の機材や通信費等や対面での商談に要する会場までの交通費、宿泊費等は参加者の負担となります。

商談実施方法：オンライン(Microsoft Teamsを使用)又は対面での商談

※英語又は現地語の通訳が同席します。

※商談先、商談日時、商談実施方法、会場等については、商談会開催の2週間前を目処にご案内いたします。

商談会参加国・地域



インド



インドネシア



オーストリア



韓国



シンガポール



タイ



台湾



ドイツ



フィリピン



ベトナム



香港



マレーシア

商談会のお申し込みは、

中小機構が運営するビジネスマッチングサイト **J-GoodTech** で

https://jgoodtech.smrj.go.jp/pub/ja/lp_ceo/medical2023/

海外CEO商談会



お申し込みの流れ

1

商談希望海外企業の選択

商談を希望する海外企業を選択してください。

2

商談会へのお申込み

上記QRにアクセスし、「ジェグテック」より仮申込をお願いします。
仮申込完了後に、本申込用URLを送付しますので、続けて本申込をお願いします。
なお、仮申込及び本申込時点では参加費はかかりません。

3

中小機構による商談調整

お申し込み内容を必要に応じて中小機構が翻訳し、貴社の商談希望海外企業に送付し商談調整を行います。
海外企業が商談を希望した場合は商談が設定されます。

4

商談に向けた事前準備

商談会開催前に接続テスト・事前オリエンテーションを実施いたします。
このオリエンテーションでは当日の商談の流れや目的を確認させていただくため、参加は必須となります。
商談会開催の2週間前を目途に商談スケジュールの通知及び対面での商談(東京会場でのリアル商談)となる参加者へのご案内を行います。やむを得ない理由により対面での商談が難しい場合は、オンラインでの商談を実施いたします。

5

商談会当日

商談時間の10分前までに商談URLよりご入室ください。(事前に商談URLを事務局よりお送りいたします)
商談時間は50分/商談となります。

モデル商談

自己・自社紹介(10分)

▶ 本論(30分)

▶ クロージング(10分)

海外CEO商談会とは

海外CEO商談会は、海外展開を目指す国内中小企業と、日本企業との連携を希望する海外企業が招聘又はオンラインにて参加する商談会です。国内にいながら信頼のおける海外企業と出会いの場を提供しています。日本企業からの購入、代理店契約・日本製品の販売、合併会社の設立、共同開発・技術提携、日本企業への生産委託等を希望する海外企業経営者(CEO等)が参加します。

海外CEO商談会の特徴

- ①海外企業経営者(CEO等)と直接商談することでスピーディーな意思決定が可能
- ②海外政府機関等から推薦を受けた海外企業が参加
- ③日本企業からの購入、代理店契約・日本製品の販売、合併会社の設立、共同開発・技術提携、日本企業への生産委託等を希望する海外企業が参加
- ④全商談に英語又は現地語の通訳が同席するため日本語での商談が可能
- ⑤海外展開の専門家が商談ノウハウをアドバイス



参加日本企業様のお声(商談会アンケートより)

自分たちでは
探せない海外企業と
コンタクトを
とることができた。

進行がスムーズ
で通訳も的確で
わかりやすかった
です。

初顔合わせにも
かかわらず、
充実した内容の
意見交換が
できた。

製品への
ニーズを
直接聞ける
良い機会でした。

良い商談ができて、
関係づくりの
一歩となった。

経営者同士で
会うことができ、
話が早かった。

分野別目次 table of contents

| 分野別 | ページ | 管理番号 | 企業名 | 国名 |
|---|-----|-------|--|--------|
|  医療機器 p5 ~ p34 | p5 | MGE01 | シーメンスヘルシニアーズ | ドイツ |
| | p5 | MGE02 | フラウンホーファー・インスティテュート・フォー・セラミック・テクノロジーズ・アンド・システム | ドイツ |
| | p6 | MOS01 | キュビキュア | オーストリア |
| | p6 | MID01 | サイリックス・ヘルスケア | インド |
| | p7 | MID02 | ベット・メディカル | インド |
| | p7 | MID03 | アライド・メディカル | インド |
| | p8 | MID04 | アクシャット・バイオメディカルズ | インド |
| | p8 | MID05 | CNCインディア・ツールズ&サービス | インド |
| | p9 | MID06 | フューチャー・メディケアー | インド |
| | p9 | MID07 | RTWO ヘルスケア・ソリューション | インド |
| | p10 | MID08 | サイジェニクス・バイオテック | インド |
| | p10 | MID09 | ユニラボ・テクノロジーズ | インド |
| | p11 | MID10 | ニューオリガミ・オートメーション | インド |
| | p11 | MID11 | ミューズ・ダイアグノスティクス | インド |
| | p12 | MID12 | ジール・エレクトロメック | インド |
| | p12 | MID13 | ステライル・ワールド・テクノロジーズ・LLP | インド |
| | p13 | MID14 | レナリックス・ヘルス・システム | インド |
| | p13 | MID15 | オジブ・テクノロジー | インド |
| | p14 | MID16 | イーティス・ロボティクス・ソリューション | インド |
| | p14 | MID17 | テェラナウティラス | インド |
| | p15 | MID18 | ラマーク・バイオテック | インド |
| | p15 | MIN01 | グラハ・テクノメディカ | インドネシア |
| | p16 | MIN02 | アバディ・ヌサ・ウサハセメスタ | インドネシア |
| | p16 | MIN03 | スギ・インストルメント・アバディ | インドネシア |
| | p17 | MIN04 | ユーフラト・メッド | インドネシア |
| | p17 | MIN05 | イノヴァシ・メディック・インドネシア | インドネシア |
| | p18 | MIN06 | ベルカ・インスタラーシ・メディカ | インドネシア |
| | p18 | MIN07 | メドテック | インドネシア |
| | p19 | MIN08 | ピナ・イクイップメント・セジャテラ | インドネシア |
| | p19 | MIN09 | サランディ・カリヤ・ヌグラハ | インドネシア |
| | p20 | MIN10 | テンソル・ブアナ・テクノロジー | インドネシア |
| | p20 | MSI01 | グランド・ベンチャー・テクノロジー | シンガポール |
| | p21 | MSI02 | レーザー・テクノロジー | シンガポール |
| | p21 | MMA01 | グレーテック・インテグレイション | マレーシア |
| | p22 | MMA02 | シンメトリー・メディカル | マレーシア |
| | p22 | MMA03 | プロフェッショナル・ツール&デバイス | マレーシア |
| | p23 | MMA04 | マレーシアン・ダイアグノスティクス・コーポレーション | マレーシア |

分野別目次

table of contents

| 分野別 | ページ | 管理番号 | 企業名 | 国名 | |
|---|--|-------|---|---|--------|
|  医療機器 p5 ~ p34 | p23 | MMA05 | シン・ヨン・グァン・インダストリーズ | マレーシア | |
| | p24 | MTH01 | 丸紅・タイランド | タイ | |
| | p24 | MTH02 | チーム・プレジジョン | タイ | |
| | p25 | MTH03 | テクノ・メディカル | タイ | |
| | p25 | MTH04 | ペイラー・ヘルス | タイ | |
| | p26 | MTH05 | M.E.メディテック | タイ | |
| | p26 | MTH06 | デバイス・イノベーション | タイ | |
| | p27 | MTH07 | C.C.オートパート | タイ | |
| | p27 | MTH08 | インテリジェンス・システム・コーポレーション | タイ | |
| | p28 | MTH09 | CMED メディカル | タイ | |
| | p28 | MVN01 | ニベクスコ | ベトナム | |
| | p29 | MVN02 | チョン・ティン・メディカル・イクイップメント・コーポレーション | ベトナム | |
| | p29 | MVN03 | タン・ビエト・マイ・トレーディング・サービス | ベトナム | |
| | p30 | MVN04 | ベトナム・テクニク・サイエンス・サービス・アンド・トレーディング・プロダクション | ベトナム | |
| | p30 | MPH01 | グルッポ・EMS・インコーポレイテッド | フィリピン | |
| | p31 | MPH02 | ザメツ・メディカル・システム | フィリピン | |
| | p31 | MTW01 | クリスタルビュー・メディカル・コーポレーション | 台湾 | |
| | p32 | MTW02 | シン・ヤン・シェノ・プレジジョン・インダストリアル | 台湾 | |
| | p32 | MTW03 | ヴィスジェネール | 台湾 | |
| | p33 | MTW04 | デンタル | 台湾 | |
| | p33 | MK001 | チョソン・インストルメント | 韓国 | |
| | p34 | MK002 | GBT コリア | 韓国 | |
| | p34 | MK003 | TMDラボ | 韓国 | |
| |  ヘルスケア・介護 p35 ~ p41 | p35 | MID19 | KM ベスト・メディカル・ワークス | インド |
| | | p35 | MID20 | エース・マイクロマチック・マニュファクチャリング・インテリジェンス・テクノロジーズ | インド |
| | | p36 | MID21 | イニト・インク・アンド・サンプリティクス・テクノロジーズ | インド |
| | | p36 | MID22 | アプタ・フット・セキュア | インド |
| | | p37 | MID23 | プライオリティーズ・メイド・イージー・テクノロジー | インド |
| | | p37 | MID24 | サウンドリアー | インド |
| | | p38 | MIN11 | ネクターズ・ナチュラ・カリヤ | インドネシア |
| | | p38 | MSI03 | ネウロ | シンガポール |
| | | p39 | MMA06 | メドクリン | マレーシア |
| | | p39 | MTH10 | ベダリー | タイ |
| | | p40 | MTH11 | ビー・レディ・インダストリ | タイ |
| p40 | | MVN05 | フック・クーアン・コンストラクション・インポート・アンド・エクスポート・カンパニー | ベトナム | |
| p41 | | MHK01 | カルチャー・ホームズ・ヘルスケア | 香港 | |
| p41 | | MK004 | ヤング・ケミカル | 韓国 | |



ドイツ

医療機器

MGE01 シーメンスヘルシニアーズ
Siemens Healthineers AG

[参加予定者] メカトロ製品技術部門長/製造部門長
[本社] エアランゲン
[他事務所] 世界70か国以上に拠点
[HP] <https://www.siemens-healthineers.com/>



CTスキャナ



MRI



血管撮影装置

- ・設立年 : 2017年 (シーメンスとしてのメディカル事業開始は1986年)
- ・資本金 : 約1700億円
- ・従業員数 : 69,500名
- ・売上高 : 約3.3兆円
- ・事業内容 : 医療画像機器、臨床検査機器、放射線治療機器等の製造・販売、医療関連ソリューションの提供
- ・主要製品 : CT、MRI、超音波診断装置、血管撮影装置、放射線治療装置
- ・取引先 : 医療機関・病院、研修施設
- ・国際認証 : ISO13485/9001, FDA他
- ・日本企業との取引経験 : 有

[会社概要]

産業・エネルギー・インフラ分野でのコングロマリット、独シーメンス社からヘルスケア部門がシーメンスヘルシニアーズとしてスピンオフ。医療技術におけるグローバルリーダーとして、画像処理診断装置等医療機器をはじめ、診断・検査装置、がん遺伝子治療、先進セラピーサービス等幅広い製品・サービスを提供。事業売上は画像診断装置関連が全体の約5割、診断・検査機器が3割、その他サービス事業が2割を占め、地域展開では米国が4割、欧州アフリカ中近東が3割強、アジアが2.5割を占めバランスの取れた展開をしている。画像診断関連の主力はCTスキャナ、MRIの他、PET装置、超音波診断装置、血管撮影 (アンギオ) 装置等。

商談会参加目的

■日本企業からの購入

医療画像診断装置、放射線治療装置、臨床検査機器等のコンポーネント、部品、素材等に使用できる日本の革新的な技術、製品を探している。具体的には医療機器筐体のカバーや操作盤に使用される素材の調達や、安全性を担保するための患者の動きを検知するセンサー技術、もしくはそのコンポーネントとしての組み上げ等の提供を日本企業に期待。センサーと精密技術、モーターとドライブ、カバーと筐体技術に特にフォーカスし検討したい。

■共同開発・技術提携

次世代医療機器製品に活用できる先進的な技術・素材に関心があり、イノベティブな日本企業との共同開発・技術提携を検討したい。医療画像診断装置における制御と操作性を一体化、最適化できる次世代機器を開発していきたい。衝突検知、衝突回避、スムーズで正確な運動学に基づいた機構、最先端の表面技術、革新的な製造技術などに特に関心を持っている。

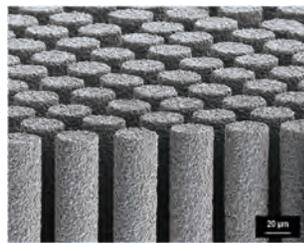


ドイツ

医療機器

MGE02 フラウンホーファー・インスティテュート・フォー・セラミック・テクノロジーズ・アンド・システム
Fraunhofer Institute for Ceramic Technologies and Systems

[参加予定者] 部門研究責任者
[本社] ドレスデン
[他事務所] 日本
[HP] <https://www.ikts.fraunhofer.de/>



①スマート材料およびシステム部門



②ハイブリット・マイクロシステム部門



③プロセスおよびコンポーネント部門

- ・設立年 : 1992年
- ・資本金 : ー
- ・従業員数 : 794名
- ・売上高 : ー
- ・事業内容 : 科学技術分野の応用研究所
- ・主要製品 : セラミック素材等
- ・取引先 : 欧州産業界、素材メーカー
- ・国際認証 : ISO9001,14001,13485
DIN EN ISO/IEC17025
- ・日本企業との取引経験 : 有

[会社概要]

当研究所は、1992年にセラミック素材、技術、加工システムの応用研究を扱う欧州最大の研究機関として設立された。独立した研究事業の単位は17部門の研究セクションがあり、各部門は特定の応用分野、材料、加工技術と高性能セラミックスの分野に特化した研究機関でもある。当研究所は大学との組織的なネットワークがあり一流の国際レベルの科学技術を保有し、所属する科学者は卓越した業績を称えられドイツ国内外から名誉ある賞を受賞している。

商談会参加目的

■共同開発・技術提携

①スマート材料およびシステム部門

圧電セラミック材料、圧電セラミックポリマー複合材料、超音波トランスデューサ、電気機械部品およびシステムの分野における材料およびプロセスの研究、部品開発

■共同開発・技術提携

②ハイブリット・マイクロシステム部門

材料およびプロセス研究、コンポーネント (部品) 開発分野における科学開発でのプロジェクト提携。セラミックプリント基板、パワーエレクトロニクス、機能化分野の開発。積層造形セラミックコンポーネント (例: ヒーター) およびセラミックセンサーの開発

■共同開発・技術提携

③プロセスおよびコンポーネント部門

セラミック粉末加工、造粒、ハードマシニング (仕上げ)、原料の準備、単一および多成分射出成形、押出、セラミック積層造形、材料およびプロセスハイブリダイゼーション、患者固有のケアのためのセラミック人工骨への置換の研究



オーストリア



医療機器

MOS01 キュビキュア Cubicure GmbH

[参加予定者] 現地法人日本代表
[本社] ウィーン
[他事務所] 日本 (新横浜)
[HP] <https://www.cubicure.com>



3Dプリンティングシステム

- ・ 設立年 : 2015年
- ・ 資本金 : ー
- ・ 従業員数: 60名
- ・ 売上高 : ー
- ・ 事業内容: 3Dプリンティング機器の製造販売
- ・ 主要製品: 3Dプリンティングシステム
- ・ 取引先 : 医療機器メーカー、電子機器メーカー、樹脂関連産業等
- ・ 国際認証: ISO9001
- ・ 日本企業との取引経験: 有

[会社概要]

樹脂部品を製造するための3Dプリンティング(樹脂積層造形)機器を開発・製造・販売する企業。大学の研究機関に端を発し、2015年から製造業の未来に向けたデジタル化に貢献し続けている。当社の技術により、樹脂を材料としてこれまで以上に精密な部品を迅速に製造することができ、メーカーにとっては柔軟性が高く先進的な製造工程を導入することが可能となる。また当社は、単に3Dプリンティングシステムを提供するのみならず、顧客の要望に応じてカスタマイズされた樹脂材料も開発・提供している。特に医療機器分野においては、各種毒性試験等をクリアした樹脂材料による小ロット製造への対応が可能である。

商談会参加目的

■共同開発・技術提携

3Dプリンティング技術を活用して、開発期間の短縮・製造コストの低減を実現したいと考えている日本の医療機器メーカーとの商談を希望している。これまでの医療機器に関しては、外科手術用器具・X線システム・医療用センサー・人工骨の材料開発といった分野に主実績があり、同様の分野で事業展開するメーカーとの商談も歓迎する。なお、当社はオーストリア企業でありR&Dについても専らオーストリアにおいて実施しているが、日本においては3Dプリンタ製造販売会社であるCMET(シーメット)株式会社を販売パートナーとしており、同社と連携して多くの日本企業とコンタクトしている。



3Dプリンティングにより
製造された医療機器部品

インド



医療機器

MID01 サイリックス・ヘルスケア CYRIX HEALTHCARE PVT LTD

[参加予定者] 代表取締役
[本社] エルナクラム(ケララ州)
[他事務所] クウェート、サウジアラビア、UAE
[HP] <http://www.cyrixhealthcare.com/>



- ・ 設立年 : 2013年
- ・ 資本金 : 640万円
- ・ 従業員数: 800名
- ・ 売上高 : 22億6800円
- ・ 事業内容: 医療用機器販売とアフターサービス、医療用消耗品の販売
- ・ 主要製品: 医療機器、医療用消耗品
- ・ 取引先 : 私立病院、医療機器販売店
- ・ 国際認証: ISO9001, ISO13485, ISO17025
- ・ 日本企業との取引経験: 有

[会社概要]

当社は19年の歴史を持つインドでトップ3に入る世界大手の医療機器と医療用消耗品を販売する商社で、クウェート、サウジアラビア、UAEに販売拠点を有する。自社ブランドの医療用消耗品も取り扱い、100以上の代理店を通じて販売している。医療機器販売事業では、装置のカリブレーション、操作トレーニングサービスなども提供している。2024年までに、さらに5つ以上の販売・サービス商品群を加え、2025年までにはカタル、オマーン、バーレーン市場への進出、2028年までに年間売上180億円達成を目指している。

商談会参加目的

■日本企業からの購入

MRI、CT、カテーテル検査装置等の医療機器に利用される様々な部材・部品、またこれら機器を組み立てる際に必要な部材・部品の購入を希望。具体的には、CT、MRI、カテーテル検査装置、USG、CR、DR用表示板、透析モニタリングシステムで必要となる部品や、医療用プリンター、歯科治療装置、内視鏡検査、腹腔鏡検査装置の部品の購入を希望。

■代理店契約・日本製品の販売

歯科治療用機器、皮膚治療用機器、眼科用機器とそのスペアパーツ、内視鏡、医療用器具、ドリルシステム、医療用消耗品、アクセサリ、医療用プリンター等の代理販売を希望。可能であればインドにおける独占代理販売契約を結びたい。

■日本企業への生産委託

当社ブランドのCTG、胎児用ドップラー等の小型医療機器の日本企業への生産委託を希望。



当社取り扱い各種医療機器



インド

医療機器

MID02

ベット・メディカル
Bet Medical Private Limited

[参加予定者] 代表取締役
 [本社] チェンナイ (タミルナドゥ州)
 [他事務所] ニューデリー、バンガロール
 [HP] <https://www.betmedical.com/>



C-Arm (X線装置)



手術台と照明

- 設立年 : 1991年
- 資本金 : 8750万円
- 従業員数 : 125名
- 売上高 : 14億円
- 事業内容 : 商社
- 主要製品 : 手術台、手術用照明・カメラ、C-Arm、マンモグラフィ等
- 取引先 : 民間企業、州政府、病院など
- 国際認証 : ISO14001
- 日本企業との取引経験 : 有

[会社概要]

手術用設備を扱う商社であり、30年にわたって関連会社 (SynerG Engineers) にて手術用照明器具やカメラの製造を行っている。日本や台湾、ドイツの医療機器メーカーのインドにおける総代理店も担う。ニューデリーやバンガロールなど、複数の営業拠点を有する。中国メーカーの代替品を求める世界的なニーズの高まりを受け、商社機能として日本製品の輸入・取り扱い拡大のみならず、製造活動の拡大を目指している。当社の専門知識・ノウハウと日本企業の技術の融合により、インドとその周辺市場をターゲットとした手術関連設備の供給拡大に注力したい。

商談会参加目的

■代理店契約・日本製品の販売

ロボティクスやAIを用いた先進的な医療機器、特にガン・腫瘍や神経系の治療に活用できる新たな器具・装置の取り扱いかつ販売代理店契約を希望。必要や数量や取引開始時期については製品によるため、商談の中で説明したい。

■合併会社の設立

放射線画像のイメージングテーブル (撮影台) 等の製造拠点をインド国内で設立する。合併にあたっては関連のSynerG Engineers社が窓口となり、製造ラインの設置や、スタッフへの技術トレーニングなどを行うことを想定。その後製造拠点で製造された製品は、インド国内ひいてはSAARC (南アジア地域協力連合) に加盟する8か国への供給を目指していきたい。

■共同開発・技術連携

外科や放射線治療 (放射線画像の撮影台など) に使用する医療機器の共同開発や技術提携を広く希望。またインドでの技術提携や合併にあたっては各種法制度調査、各種税制の情報共有、資金調達などのサポートも可能。



インド

医療機器

MID03

アライド・メディカル
ALLIED MEDICAL LIMITED

[参加予定者] 取締役
 [本社] グルグラム (ハリヤーナー州)
 [他事務所] ビワディ (ラジャスタン州)
 [HP] <https://www.alliedmed.co.in>



麻酔機器



人工呼吸器

- 設立年 : 1982年
- 資本金 : 2億9000万円
- 従業員数 : 350名
- 売上高 : 24億6000万円
- 事業内容 : 医療機器の製造・販売
- 主要製品 : 麻酔機器、人工呼吸器
- 取引先 : 医療機関、ヘルスケア業界
- 国際認証 : ISO13485、CEマーキング
- 日本企業との取引経験 : -

[会社概要]

主に救命医療機器を扱う先進的なメーカーで、医学博士のDr.Kohliによって創設された。取扱製品は麻酔機器、人工呼吸器、ECG、AED、注入ポンプ、保育器、加温機など多岐にわたる。20年前にISO13485認証を取得し、CEマーキングも取得している。COVID-19の感染拡大時には、人工呼吸器と高速酸素供給システムの緊急増産に対応し、10件の新規製品を短期間に市場に投入した実績がある。その結果、生産能力は飛躍的に拡大し、月に数千台の人工呼吸器を製造するに至った。ニューデリー空港の近郊に20万スクウェアフィートの生産工場を有し、更なる新工場への投資や新生児用のデバイスの開発計画がある。

商談会参加目的

■共同開発・技術提携

医療法規・規格、製品競争力強化、技術的進歩への対応等のために、日本企業との共同開発・技術提携を希望している。特に関心の高い領域は、手術室用設備、集中治療、緊急治療、新生児治療等に関連する医療機器である。当社は医療機器で40年以上の開発実績、救命医療分野での高い製造能力や充実した生産インフラを有し、パートナー企業との連携で更なる技術革新と業容拡大を図りたいと考えている。技術提携の範囲は、基礎研究、開発、試作、大量生産から先進の生産技術に至るまで幅広く考えたい。事業提携の成果として医療機器の国産化が実現できればインド政府からの支援も期待できる。提携場所の候補はデリー空港から50kmの工業団地内、対象市場はインド及びグローバル市場を想定している。



インド

医療機器

MID04

アクシャット・バイオメディカルズ AKSHAT BIOMEDICALS (P) LTD

[参加予定者] 代表取締役
[本社] ジャイプール (ラジャスタン州)
[他事務所] —
[HP] —



血液分析器(1)



血液分析器(2)

- 設立年 : 2010年
- 資本金 : 1450万円
- 従業員数 : 30名
- 売上高 : 1億5800万円
- 事業内容 : 医療機器製造・販売
- 主要製品 : 血液分析装置、体外診断機器、
その他医療機器・消耗品
- 取引先 : 医療器具製造業など
- 国際認証 : ISO13485、CE
- 日本企業との取引経験 : 有

【会社概要】

2010年に設立以後13年間、主に医療機器分野の製品を製造している。近年中国企業との協業によりインド国内産の血液分析装置の製造を開始した。同製品の製造に当たっては、当社と中国企業とで、30:70の比率で血液分析装置の組み立てを行っている。インドの医療機器産業は、いまだ初期段階にあり、医療機器の約90%が中国から輸入されているのが現状である。当社としてはこれら製品の国産化を進めたいと考えているが、同様のカテゴリーのハイエンド製品を開発するためには、技術的にはまだ不十分であることから、日本における同様な分野の企業と連携・協力し、インド本国での生産体制構築を目指している。

商談会参加目的

■日本企業からの購入

体外診断機器の購入を検討している。具体的には当社の主力製品である、血液アナライザー、生化学的アナライザー、免疫学的測定アナライザー、電解質アナライザー等の機器/構成部品及びこれらのスペアパーツである。購入と合わせて技術指導も希望する。これらの製品や部品は国内の他の医療機器メーカーへの提供や、第三国への輸出も検討している。

■共同開発・技術提携

当社の主要製品は、IVD医療機器（血液分析器）で、現在中国企業との協業ではあるが、国内で生産に成功している唯一の企業である。このような中国企業依存から脱却するために、内製化を進めたいと考えているが、そのために日本企業との連携が必要となっている。協業の範囲は、基礎研究、設計、試作、量産、加工技術、製造ライン改善、人材育成など幅広く行っていきたい。



インド

医療機器

MID05

CNCインディア・ツールズ&サービス CNC India Tools & Services Private Limited

[参加予定者] 取締役
[本社] バンガロール(カルナータカ州)
[他事務所] —
[HP] <https://cnc-india.com>



当社組立ライン



製品 (ジェネレーター)

- 設立年 : 1992年
- 資本金 : 1億円
- 従業員数 : 170名
- 売上高 : 12億3500万円
- 事業内容 : 機械加工業(受託製造)
- 主要製品 : 医療機器、自動車部品
- 取引先 : インド国内外の自動車製造業
- 国際認証 : ISO9001
- 日本企業との取引経験 : 有

【会社概要】

1992年の設立以来、医療機器、自動車、エネルギー企業等に向け開発、設計、組み立て、溶接、検査、据え付け、試運転までワンストップソリューションを提供している。5万フィートの専用機械加工並びに組み立てエリアを保有、ロボットを活用した自動化製造プロセスを推進、顧客の要望に合ったカスタマイズされた製造を提供。更に人材を強みとし、技術、安全、その他スキルの向上に継続的なトレーニングを行っている。現在、カスタマイズ対応が中心であるため、製造、組立、検査技術を向上させ、顧客との継続的な取引を確立するためにも、日本企業との提携を希望する。

商談会参加目的

■合併会社の設立

当社の製品は多岐にわたる業界に提供されてきたが、今回は医療機器がテーマの商談会にて、主にスキャナー、X線機器、その他手術支援を行うロボットあるいは関連医療機器の製造・組立を目的とする合併会社設立を希望する。ワンストップソリューション提供企業として保有する工場・設備を提供、日本企業には合併会社を通して、生産技術供与を期待する。合併会社では日本企業ブランドを製造したい。

■共同開発・技術提携

上述の合併設立以外でも、技術提携、受託生産等について柔軟に日本企業と議論したい。生産品目は合併の場合と同様、スキャナー、X線機器、その他手術支援に関するロボット他関連医療機器。自社の製造・組立設備をワンストップで対応でき、かつ多岐にわたる業界との30年の事業経験で積み上げられたノウハウや、品質、価格競争力が強み。



インド

医療機器

MID06 **フューチャー・メディ케어**
FUTURE MEDICARE

[参加予定者] 代表取締役
[本社] バンガロール(カルナータカ州)
[他事務所] ー
[HP] ー



#dignifiedpatientexperience

医療用ベッド



手術台

- ・ 設立年 : 2009年
- ・ 資本金 : 6500万円
- ・ 従業員数: 10名
- ・ 売上高 : 1億2600万円
- ・ 事業内容: 医療機器販売業
- ・ 主要製品: 医療機器、救命機器、設備等
- ・ 取引先 : 病院、高齢者介護施設 等
- ・ 国際認証: ー
- ・ 日本企業との取引経験: ー

[会社概要]

当社は南インド全域で企業病院、高齢者介護施設、各種医療機関を対象に様々な医療機器（手術室設備、ICU設備、医療用家具、その他設備）を供給する医療製品全般を取り扱う卸売業者である。現在はドイツ、アメリカ、韓国、中国で生産された医療製品を輸入しインド国内で販売している。インドの医療市場は年々拡大しており、高度な医療施設における患者数は増加の一途である。またインド国内だけでなく、海外からの医療ツーリズムも発展しており、将来にわたる潜在的需要の大きさは計り知れない。日本企業との長期的なパートナーシップの確立により、更なる事業拡大を目論んでいる。

商談会参加目的

■代理店契約・日本製品の販売

インド市場に適合した革新的な医療関連製品、特にICU、NICU、手術室製品、緊急救命製品、医療家具を扱う日本企業との商談を望んでいる。具体的には、患者用マルチパラメータモニター、ポータブルタイプの胎児ドップラーエコー検査機、CPAP(持続陽圧呼吸療法)、デジタルX線装置、ICU関連のハイエンド機器等に関心がある。これら商品にはCE認証の他、価格競争力が求められる。まずは南インドでの協業から開始し、その後西インド、北インドへの拡大を検討している。

■共同開発・技術提携

日本の先端技術を活用してインドで製品を製造することを想定した共同開発・技術提携を望んでいる。日本企業との間で、製品開発や設計の他、特に生産技術関連等の製造に関する協議が可能であれば、当社は製造面でのインフラ整備やマンパワーの投資、更には製品販売後のアフターセールスサービスの対応が可能である。パートナーとなる日本企業との相互利益の追求と事業発展を望んでいる。



インド

医療機器

MID07 **RTWO ヘルスケア・ソリューション**
RTWO HEALTHCARE SOLUTIONS

[参加予定者] 代表取締役
[本社]バンガロール (カルナータカ州)
[他事務所]ー
[HP] <https://www.rtwohealthcare.com/>



ICU患者の状態を常に監視するICU-Connect



スマート救急車



医療用ロボット

- ・ 設立年 : 2015年
- ・ 資本金 : 1億3000万円
- ・ 従業員数: 25名
- ・ 売上高 : 1億3000万円
- ・ 事業内容: 医療関連機器・システムの開発、製造販売
- ・ 主要製品: ICUリモート監視システム、医療用ロボット、スマート救急車、医療用画像システム等
- ・ 取引先 : 病院、医療機器メーカー、医療層ソフトとAI開発企業、介護施設等
- ・ 国際認証: ー
- ・ 日本企業との取引経験: 有

[会社概要]

医療機器のインテグレーション、患者のリモートモニタリングシステム、重病患者用チャットシステム、医療画像解析システムの開発、製造・販売する企業で、ヘルスケアIT技術に高い専門性を有し事業展開を行っている。既にインド国内では多くの顧客に加え、スマートデジタル病院ソリューションを提供するために必要な様々な顧客ニーズに対応できる連携製造パートナーも存在する。今後はAIソリューションの開発に注力し、日本企業、大学、研究所等からの技術移転にも高い関心がある。近い将来に年間総売上30億円達成を目指す。

商談会参加目的

■合併会社の設立

日本ならびに東南アジア市場への参画を目的として、医療技術、システムインテグレーション技術を有する日本企業又は医療機器、ロボットを製造する日本企業と合併会社設立を見据えたAI、組み込み型コンピューター技術、ロボット技術分野での事業連携を希望する。加えて、重病患者用ソリューション、医療画像解析システム分野での合併会社設立も検討したい。事業の予定エリアは商談の場で検討したいが、13億円程度の投資を予定している。



インド

MID08

サイジェニクス・バイオテック SCIGENICS BIOTECH PVT. LTD.

[参加予定者] 代表取締役
[本社] チェンナイ (タミルナードゥ州)
[他事務所] —
[HP] <https://scigenicsbiotech.com/>



当社製品

- 設立年 : 1997年
- 資本金 : 1700万円
- 従業員数 : 47名
- 売上高 : 1億9000万円
- 事業内容 : 医療機器製造販売
- 主要製品 : 細胞培養用小型振動
バイオリアクター装置、
2D/3D培養装置など。
- 取引先 : バイオ医薬品、ワクチン製造
メーカー、研究機関等
- 国際認証 : ISO9001、CE
- 日本企業との取引経験 : 有

【会社概要】

1997年にライフサイエンスやバイオテクノロジーの研究、開発製造するために設立され、これまで様々なシェーカー（振とう培養器）を製造し5000台以上を販売。自社ブランド名はORBITEK®であり、これまでインド国内に複数のライフサイエンス研究機関のラボへ納入実績を積み重ねインドを代表するブランドとして成長。コロナ禍においては新型コロナウイルスワクチン製造のため、ワクチン製造業者へもシェーカーを納入している。海外ではサウジアラビア、エジプト、フィンランド、バングラデシュ、スリランカ、ベトナムなどへ輸出を行っている。今後、日本企業との合併も視野に入れて共同開発・技術提携することを目的に商談会に参加する。



植物
グロースチャンバー

商談会参加目的

■合併会社の設立

ライフサイエンスやバイオテクノロジー分野における植物の遺伝子発現や組換え等の技術を組み込んだ機器の開発や製造を、日本企業と合併事業で実施していきたい。会社設立はインド国内を想定し、当社のエンジニアや専門研究者のリソースを活用し、日本の最新のバイオテクノロジー技術を融合させて開発製造を行っていききたい。そのためにも、大学研究ベンチャー等との商談を期待している。製造された機器はインド国内、そしてパートナーを通じ世界中へ販売することを考えている。

■共同開発・技術提携

バイオテクノロジー分野での機器製造に向けて、小型非接触センサーや細胞治療用の細胞培養装置、工業用ホモジナイザーや凍結乾燥技術について、日本企業との提携を期待している。これらの機器や技術を取り入れ、新製品開発に繋げていく。過去に日本企業とのインキュベーター製造組み立て技術提携の経験や一般財団法人海外産業人材育成協会（AOTS）を通じて経営管理に関するトレーニングを受講した経験があることから、スムーズな連携が可能である。

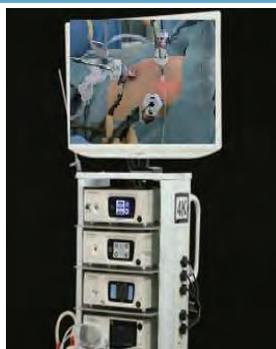


インド

MID09

ユニラボ・テクノロジーズ UnivLabs Technologies Pvt Ltd

[参加予定者] 代表取締役
[本社] グルグラム(ハリヤーナー州)
[他事務所] —
[HP] <https://univlabs.in/>



内視鏡システム

- 設立年 : 2015年
- 資本金 : 1300万円
- 従業員数 : 25名
- 売上高 : 7800万円
- 事業内容 : 医療機器製造
- 主要製品 : 内視鏡、吸引ポンプ、
泌尿器科用機器
- 取引先 : 医療機関
- 国際認証 : ISO13485
- 日本企業との取引経験 : 有

【会社概要】

ニューデリー近郊のハリヤーナー州グルグラムにあるISO13485認証取得の工場、内視鏡、吸引ポンプ、尿道カテーテル等の開発、製造を行っている。販売は、45社以上の販売代理店を通じて、インド全土に販売しているが、中でも外科手術用内視鏡は同様の販売代理店を通じて国内外に販売、輸出している。また、腹腔鏡の製造に関しては、画像センサーを日本の大手電機メーカーから調達しているが、今後マイクロプリズムやロッドレンズ等を搭載した腹腔鏡を製造することが目下の目標。また泌尿器科用カテーテルの開発にも取り組んでおり、腹腔鏡と共にインドでの製造を目指している。メイク・イン・インドの政策下、早期に国内製造を軌道に乗せたい思いを有する。

商談会参加目的

■日本企業からの購入

既に日本の大手電機メーカーから画像センサーを調達しているが、今後腹腔鏡や内視鏡を製造するために、マイクロプリズムやロッドレンズ等を日本企業から調達したい意向を有する。

■合併会社の設立

メイク・イン・インドの政策下、日本企業との合併会社を設立することで、腹腔鏡・内視鏡の光学部品や泌尿器科用カテーテルを自社の工場で製造したい意向である。また、合併会社の設立にこだわるものではなく、技術提携によるロイヤリティーベースでの製造も検討可能。インドの国公立医療機関向けの販売を拡げるとともに、国際市場に向けた販売を強化していく方針である。



泌尿器科用カテーテル



インド

MID10

ニューオリガミ・オートメーション
Neuorigami Automation India Pvt Ltd.

[参加予定者] 代表取締役
[本社] フプリ(カルナータカ州)
[他事務所] バンガロール
[HP] <https://www.neuorigamiautomation.com/>

医療機器



呼吸補助機器「In-spire」(表側)



呼吸補助機器「In-spire」(裏側)

- 設立年 : 2021年
- 資本金 : 1000万円
- 従業員数: 8名
- 売上高 : 70万円
- 事業内容: 医療機器製品の製造・販売業
- 主要製品: 呼吸補助機器
- 取引先 : 病院、公的医療センター等
- 国際認証: ISO13485
- 日本企業との取引経験: ー

[会社概要]

新規開発した独自の呼吸補助機器「In-spire」を手掛けるスタートアップ企業。当製品は、従来の手動タイプのアンブ蘇生バッグを高機能化したもので呼吸障害のある患者の呼吸パターンを認識し、酸素を含んだ空気を患者に自動的に供給する救命医療機器で、人工呼吸器の機能の一部も併せ持っている。主な用途は、手動による手技の改善、人工呼吸器使用までの繋ぎ治療等である。手ごろな価格で購入できるため、人工呼吸器が不足している地方の医療機関等では特に需要が見込まれる。2023年中にインド国内の主要施設で拡大評価を実施し、2024年から本格的に販売開始予定。国際特許出願済、輸出のためにCE認証準備中。

商談会参加目的

■日本企業からの購入

当社製品「In-spire」に使用される主要部品に関し、品質が良く価格競争力のある代替購入先を探している。具体的な品目としては、スイッチング電源 Mean well社 MSP-100-12 100W相当 希望価格8900円+税他、圧力センサー NXP社製 MPX5100DP相当 希望価格4000円+税他。IEC60601-1-2, ISO13485に適合要。ミニマム購入量500~850個、2024年下半年購入開始予定。

■共同開発・技術提携

当社は、AI機能を備えた次世代の「In-spire」の設計初期段階にあり、呼吸回数や呼気終末陽圧等の呼吸設定に適したソフトウェアの設計、身長、体重、年齢等の患者設定等に関して、分析力、開発力に優れた企業との提携を希望している。提携の対象には、設計、試作、評価、量産、生産ライン改善等を含む。提携の拠点は日本又はインド。対象市場は地方の病院や救急車両を含む医療機関全般を想定している。また、製造・販売に関して合弁会社の設立にも関心がある。



インド

MID11

ミューズ・ダイアグノスティクス
Muse Diagnostics Pvt., Ltd.

[参加予定者] 代表取締役
[本社] バンガロール (カルナータカ州)
[他事務所] ー
[HP] <https://www.museinc.in/>

医療機器



デジタル聴診器



デジタル聴診器



デジタル聴診器

- 設立年 : 2016年
- 資本金 : 8400万円
- 従業員数: 5名
- 売上高 : 9800万円
- 事業内容: 医療機器製造、スクリーニング診断サービス
- 主要製品: デジタル聴診器
- 取引先 : ヘルスケア関連企業、病院等
- 国際認証: ISO13485 (取得予定)
- 日本企業との取引経験: 有

[会社概要]

医療音声データ分析を専門とするデジタル聴診器の製造メーカー。当社製品は現在特許出願中であり、高い性能と手頃な価格により業界内での評価も高い。社内には音響や医療データ分析に精通した深い専門知識を有するチームを擁し、デジタル聴診器の開発に加え、捕捉した身体音声を送信するためのソフトウェア、クラウドプラットフォームを開発している。これにより初期の病状診断や、包括的な遠隔医療ケアの実現に貢献している。また社内の医師を通じて短時間かつ手頃なコストで症状や疾患を特定するアルゴリズムを活用したスクリーニング診断サービスを提供しており、看護師や救急隊員といった初期段階の医療従事者に既に活用されている。

商談会参加目的

■合弁会社の設立

日本のヘルスケア事業者向けに音声診断技術を活用した健康診断サービスを提供していきたいと考えており、合弁パートナーとなる日本企業には日本市場での販売、マーケティング、流通のサポートを期待している。主なターゲット領域は遠隔医療、患者や被介護者の見守り、在宅診療等を想定している。

■共同開発・技術提携

音響によるヘルスケア診断に関するワイヤレス及びウェアラブル製品のハードウェア開発のために日本企業との共同開発・技術提携を希望している。ハードウェア開発やAI、疾病分析に関するデータに関して、両社でノウハウや技術の共有を行うことを期待している。当社とパートナーになる日本企業には、世界最大の医療音声データを保有する当社のデータベースへのアクセスが可能である。また、サービス提供を拡大するために、AIを活用したアルゴリズム開発に取り組んでいる企業との事業連携にも関心がある。

MID12

ジール・エレクトロメック

Zeal Electromech Pvt.Ltd.

[参加予定者] 取締役
[本社] ブーネ (マハーラーシュトラ州)
[他事務所] ー
[HP] <https://www.zealelectromech.com>



当社組立プリント基板

- 設立年 : 2019年
- 資本金 : 3900万円
- 従業員数 : 110名
- 売上高 : 7800万円
- 事業内容 : プリント基板の製造、販売
- 主要製品 : プリント基板及び関連商品
- 取引先 : 電子機器及び医療機器製造業
- 国際認証 : ISO9001, ISO16949
- 日本企業との取引経験 : ー

【会社概要】

当社は2019年に設立された電子機器製造、エンジニアリングサービス提供を生業とするスタートアップ企業。小ロット・大量生産に関わらず、プリント基板の組み立て、修理、エンジニアリングサービスに特化している。取引先としては自動車、医療、航空業界等多岐にわたる。品質向上に力を注ぎ、ISO9001、ISO16949を取得している。また、迅速なサービス提供が可能であり、完全なキットを受け取ってから72時間以内に複雑なPCBアセンブリを提供可能である。プリント基板を使用する最終製品への組み立て支援も可能。日本企業との提携を通し、最新技術の知見を深めたい。

商談会参加目的

■共同開発・技術提携

医療機器のプリント基板の組み立てに関してアウトソーシングを行いたい日本企業との商談を希望している。当社は、医療機器に加え、自動車、航空業界等幅広い業界にプリント基板関連のサービスを提供している。医療機器関連においては、特に酸素濃縮器、酸素濃度計、人工呼吸器、除細動器に関する取引を希望している。パートナー企業に対しては、高品質、短納期、競争力・透明性のあるコストでのサービス提供が可能であり、インド国内の当社の販売ネットワークも活用することができる。日本企業との事業連携を通して、更なる技術の向上を目指している。



当社組立プリント基板

MID13

ステライル・ワールド・テクノロジーズ・LLP

STERILE WORLD TECHNOLOGIES LLP

[参加予定者] 代表取締役
[本社] アウランガバード (マハーラーシュトラ州)
[他事務所] ー
[HP] <https://sterilewt.com>



滅菌紙リール

- 設立年 : 2016年
- 資本金 : 1800万円
- 従業員数 : 18名
- 売上高 : 7000万円
- 事業内容 : 滅菌用パッケージ製造業
- 主要製品 : 滅菌紙、タイベック紙、カテテル、ETO滅菌サービス
- 取引先 : 医療機器メーカー、外科手術製品メーカー
- 国際認証 : ISO13485
- 日本企業との取引経験 : 有

【会社概要】

医療用滅菌包装材料である滅菌紙やタイベック紙を専門に扱うメーカー。当社はISO13485とインドFDAの認証を保有し、滅菌包装材料は日本の医療機器メーカーにも採用されている。ドイツ企業からは指定の医療包装材料の製造受託も請け負っている。また、ETO滅菌サービスや外科器具の再梱包サービスも行っており、血管造影や透析用のカテテル類の輸入販売も手掛けている。新規事業として、需要の増大が見込める透析器フィルターや各種のカテテルの自社生産に関心が高く、ドイツや中国企業と現地への直接投資について協議を始めている。

商談会参加目的

■合併会社の設立

インド国内では多大な需要がある中、外資系企業からの輸入が主である製造透析フィルターと透析用カテテル(ダブルルーメン、トリプルルーメン)の合併事業に関心がある。日本の透析関連メーカーの技術面、資金面での協力を得て、フィルターの紡糸までを行う現地生産を実現したいと考えている。生産設備としては、現有の滅菌用パッケージ設備に、新たに別の滅菌用設備と透析製品の生産設備を拡充していきたい。場所はムンバイ近郊、投資金額は透析フィルター単独で5百万USドル規模を想定している。

■共同開発・技術提携

透析フィルターや透析用カテテル(ダブルルーメン、トリプルルーメン)の製造拠点を設立すると共にフィルター等の主要な部材、部品を日本から購入し、日本企業と技術提携することで、インド国産品に認定される自社ブランド製品を確立していきたいとも考えている。



製造工程 (クリーンルーム)



インド

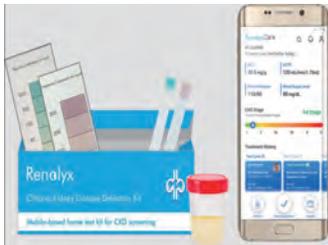
MID14

レナリクス・ヘルス・システム
Renalyx Health Systems Pvt Ltd

[参加予定者] 代表取締役
[本社] バンガロール(カルナータカ州)
[他事務所] ー
[HP] <https://www.renalyx.com>



人工透析器



診断キット

- ・ 設立年 : 2012年
- ・ 資本金 : 1億4670万円
- ・ 従業員数: 20名
- ・ 売上高 : 4770万円
- ・ 事業内容: 腎臓病診断、治療装置 (人工透析器) の製造
- ・ 主要製品: 腎臓病診断キット、人工透析器
- ・ 取引先 : 病院、診療機関等
- ・ 国際認証: ISO13485, CE
- ・ 日本企業との取引経験: ー

[会社概要]

腎臓に係わる疾病を早期発見する診断キット、及び慢性腎臓病の進行を遅らせる疾病管理、また末期患者へのケア管理など腎臓病に係わる全てのステージでソリューションを提供する。凡そ2億9300万人が慢性腎臓病のリスクを誇るインドにおいて、比較的安価に人工透析を行える様システムを開発した。尿検査を端末アプリによる色度測定により実施、患者の情報はクラウド上で管理しつつも、どこからでも専門家がモニタリング可能で、必要に応じ自社開発による人工透析器と利用しトータルケアを可能としていることも特徴である。

商談会参加目的

■日本企業からの購入

人工透析器のコンプレッサー用ピストンポンプ、電機部品、数値モニタリング用タブレット等の購入を希望する。現状年間500台程の生産である人工透析器における部品の多くはインド製だが、一部はドイツ、中国、スイス製のもの調達しており、日本製が安価であれば導入を検討したい。また自社開発している人工透析器は海外への輸出も検討しており、販売代理店の討議も広く行っていきたい。



インド

MID15

オジブ・テクノロジー
OGIVE TECHNOLOGY

[参加予定者] 代表取締役
[本社] ハイデラバード(テランガーナ州)
[他事務所] ー
[HP] <https://www.ogivetechology.com>



医療技術関連イベントへの出展



防衛産業関連イベントへの出展

- ・ 設立年 : 2016年
- ・ 資本金 : ー
- ・ 従業員数: 25名
- ・ 売上高 : 1700万円
- ・ 事業内容: AI、IoT、ブロックチェーン、VR/AR関連システム等の開発・提供
- ・ 主要製品: 各種シミュレーター、在庫・倉庫管理システム、設備保全システム等
- ・ 取引先 : 医薬・医療産業、自動車産業、金融業、防衛関連産業等
- ・ 国際認証: ISO9001、ISO13485、ISO27001、ISO56002 等
- ・ 日本企業との取引経験: 有

[会社概要]

IoT、AI・ディープラーニング、ブロックチェーン、拡張現実 (VR/AR/MR) 等の最先端のデジタル技術を活用し、自動車・防衛・金融・医療等の各種産業・企業の抱える課題にソリューションを提供する企業。特にVR/AR/MRによる各種シミュレーションシステムやAIによるデータ処理・データ分析の分野に強みを持つとともに、個別単独の技術のみならずそれらを組み合わせ統合して現実的な解決策を提供することを得意とする。医療分野においては、内視鏡検査・手術のシミュレーション、外科・緊急救命におけるトレーニングシステムや複雑な医療機器のインタラクティブ電子マニュアル、医療データ・文書管理システム等での実績を有する。

商談会参加目的

■合併会社の設立

日本市場向けの製品 (ソフトウェア) 開発および販売・サービス提供に向けた合併会社設立のため、日本のパートナー企業を探索している。日本は既にエレクトロニクス等の分野では先進的な技術を持っているが、当社の技術および医療分野での知見を組み合わせることにより、研究開発のスピードアップおよび斬新で破壊的イノベーションの創出が可能になるものと期待している。

合併会社の研究開発についてはインドに拠点を置きたいと考えているが、バーチャル環境やリモート環境での共同作業も可能であり、目安として3年程度で成果を出すことを想定している。

■共同開発・技術提携

集中治療室・緊急救命・手術室関連の医療機器関連企業、もしくは遺伝子治療・がん治療・免疫不全等に取り組む製薬関連企業と、研究開発での技術的連携について商談を実施したいと希望している。当社との連携により、研究開発能力の向上や研究開発サイクルの短縮、製品ラインアップの拡張が可能になるものと考えている。



インド

MID16

イーディス・ロボティクス・ソリューション Edith Robotics Solutions Private Limited

[参加予定者] 代表取締役
[本社] アフマダーバード (グジャラート州)
[他事務所] ニューデリー
[HP] <https://edithhealthcare.in/>

医療機器



ICU隔離ベッド

- 設立年 : 2020年
- 資本金 : 700万円
- 従業員数 : 7名
- 売上高 : 140万円
- 事業内容 : 医療機器研究開発、製造、卸売業
- 主要製品 : ICU隔離ベッド、移動式隔離ユニット
- 取引先 : 病院、研究施設他
- 国際認証 : ISO9001、ISO13485(手続き中)
- 日本企業との取引経験 : 有

[会社概要]

応用科学と最先端技術ソリューションで医療業界の課題を解決することに特化した研究開発のスタートアップ企業。HAI(医療関連感染)、免疫不全患者の保護、抗菌薬耐性をターゲットとしており、空気や接触による相互感染のリスクに対して、当社が開発した移動式隔離ソリューションを通じてICUや病院内での感染症に対処している。このソリューションはCOVID-19や新型インフルエンザ、結核菌などの感染症患者の陰圧隔離ユニットとして機能するだけでなく、骨髄移植手術や放射線治療、免疫抑制患者にも有益である。この革新的ベッドは患者を様々な細菌環境から包括的に保護し安全と健康を確保するだけでなく、医療従事者の感染予防、精神的ストレス軽減にも貢献している。

商談会参加目的

■代理店契約・日本製品の販売

当社は病院内での細菌環境から患者を保護する隔離ベッドの研究開発、製造の他に、各種医療機器の輸入販売も手掛けている。当社の取り扱い製品ラインアップを補完する日本の革新的で付加価値の高い製品、特にICU、手術室、救急救命分野で使用される医療機器、補助機器に関心がある。これらの製品には日本での医療認証やCEマークの取得が求められる他、持ち運び可能なポータブルタイプである必要がある。パートナーとなる日本企業にはインド市場への参入機会と医療業界での事業拡大機会が提供可能である。



移動式隔離ユニット



インド

MID17

テラナウティラス Theranautilus

[参加予定者] 代表取締役
[本社] バンガロール(カルナータカ州)
[他事務所] ー
[HP] <https://www.theranautilus.com>

医療機器



開発中の歯科治療用
ナノロボット

- 設立年 : 2020年
- 資本金 : 20万円
- 従業員数 : 5名
- 売上高 : ー
- 事業内容 : 医療用ナノロボットの開発
- 主要製品 : 歯科治療用磁気ナノロボット
- 取引先 : 医療機関、医療テクノロジー企業
- 国際認証 : FDA us (ISO取得予定)
- 日本企業との取引経験 : ー

[会社概要]

ナノロボットの開発製造と、生体内においてナノロボットを標的部位に適切に配置し安全且つ効果的に運用する技術の開発・実用化に特化した研究開発型スタートアップ企業。特に、標的にピンポイントでドラッグデリバリーを行うことで、革新的な歯科治療法の開発を目指す。具体的には、専用に開発された磁気ナノロボットに生体活性物質を仕込み患部に埋め込むことで、知覚過敏や根幹・インプラントへの感染を治療し、歯の再生を促進させることで、歯科治療における半永久的な有効性が期待できる。現時点では開発・投資の段階であり製品の上市には至っていないが、製品については動物実験により有効性が示されており、また一般的な毒性試験もクリアしている。

商談会参加目的

■合併会社の設立

日本での当社製品の上市・販売を目的に実績のある日本の歯科医療用機器関連企業との合併会社の設立を希望している。当社製品(生体活性ガラスによる磁気ナノロボット)については臨床試験の実施に向けて各種許認可等の取得の途上であり、来年早々には臨床試験および有効性検証を実施することを計画している。商談では日本市場向けの当社製品の開発・販売における連携から、流通販売まで議論したい意向を有する。

インド

MID18 ラマーク・バイオテック
Lamark Biotech Pvt. Ltd.

[参加予定者] 代表取締役
[本社] ヴェールール (タミル・ナードゥ州)
[他事務所] フランス
[HP] <http://www.lamarkbiotech.com>



- 設立年 : 2018年
- 資本金 : 13万円
- 従業員数 : 6名
- 売上高 : ー
- 事業内容 : バイオ医薬品の研究開発
- 主要製品 : 糖尿病治療薬、眼科疾患 (加齢黄斑変性) 治療薬【ともに研究開発中】
- 取引先 : ー
- 国際認証 : ー
- 日本企業との取引経験 : ー

【会社概要】

バイオ医薬品の研究開発及び創薬、特に糖尿病治療薬および加齢黄斑変性を主とした眼科疾患の治療薬の開発を行っているスタートアップ企業。まだ上市には至っていないものの、これら治療薬 (新薬) についての開発パイプラインを持っている。特に滲出型加齢黄斑変性の治療薬の開発に力を入れており、既存の抗VEGF療法に反応しない世界中で約100万人の患者に対して効果的な治療法を提供すべく、画期的治療薬 (インテグリン阻害剤) を開発中。2027年のフェーズ1臨床試験実施を目指し、動物を用いた長期有効性の検証や各種非臨床試験の実施を計画している。



バイオ医薬ワークショップへの参加

商談会参加目的

■ 共同開発・技術提携

加齢黄斑変性等の眼科疾患に対する治療薬の開発について、戦略的パートナーとなる日本の製薬企業との商談を希望している。戦略的パートナー企業には、非臨床試験の実施や各種許認可申請・規制対応の分野での協力を期待している。直近の具体的なニーズとしては、今後日本で実施を計画している非臨床試験 (硝子体内注射療法についてのもの) を実施可能な企業もしくは研究機関を探しているところであり、サルもしくはブタを用いた試験の実績があり滲出型黄斑変性についての動物モデルを持つ企業・機関であることが望ましい。

インドネシア

MIN01 グラハ・テクノメディカ
PT. Graha Teknomedika

[参加予定者] 代表取締役
[本社] デボック
[他事務所] ー
[HP] <https://grahateknomedika.com>



ICU 用ベッド



デジタル超音波画像診断システム



シリンジポンプ

- 設立年 : 2008年
- 資本金 : 94億6800万円
- 従業員数 : 75名
- 売上高 : 47億3400万円
- 事業内容 : 病院用備品及び器具の製造販売
- 主要製品 : 病院用ベッド、手術台、手術器具、各種検査機器等
- 取引先 : 公立病院等
- 国際認証 : ISO9001、ISO13485
- 日本企業との取引経験 : ー

【会社概要】

当社は、病院用家具及び、電子医療器具メーカーなどを製造販売するインドネシアの代表的企業の一つである。具体的には、病室用、手術用及びリハビリ用電動・手動ベッド、外科治療具、救命救急器具、診断・画像処理機器など幅広く製造販売しており、国内トップメーカーとして、インドネシア全土の病院をはじめとする医療機関を対象に幅広く製品を提供している。国内の公立病院への売り上げは全体の約70%を占めている。将来的には、救急医療分野や手術分野、診断機器分野への事業展開を目指しており、事業領域拡大のために、取扱製品が多様化を進めたい意向である。高い信頼関係の構築が築けているクライアントに対し、より高品質な製品を展開することが当社の方針である。

商談会参加目的

■ 日本企業からの購入

医療機器、医療器具の製品を構成するあらゆるカテゴリの部品、コンポーネント、機械、電気、電子などの調達を考えている。特に、救命救急、外科治療、診断と画像処理の分野の医療機器を構成する部品、コンポーネントに関心がある。具体的には、ベッドのキャスターとガススプリング、吸引ポンプのポンプ、保育器のファン、放射線科用の X線管など。また、電気部品では、ベッドの電動モーター、電気ケーブル、電子部品としては、乳児保温器または患者モニターの熱等の電子センサー類、医療機器のLCDスクリーンなど。ケーシング関連では、患者モニター、注射器、および注射器用のプラスチック casting 部品。また、輸液ポンプおよびその他の種類の医療機器など、多岐に渡る。

■ 共同開発・技術提携

生命維持製品 (人工呼吸器、麻酔、放射線製品、IVD機器) などの中高水準の医療機器については、これらを現地生産するために、これら機器の生産技術を有する外部企業とのパートナーシップ確立が必須と考えている。最適な技術提携としては、海外メーカーの既存製品の技術移転 (当社はインドネシアの現地製造パートナーになる)、あるいは、当社の医療機器の設計プロセスを通じ、設計の改善、プロトタイプング、量産に参画することなどを想定している。

MIN02

アバディ・ヌサ・ウサハセメスタ
PT Abadi Nusa Usahasemesta

[参加予定者] 代表取締役
[本社] ジャカルタ
[他事務所] バンドン
[HP] <https://www.abadinusa.co.id/>



医療機器の製品群

- 設立年 : 1980年
- 資本金 : 2億6000万円
- 従業員数 : 150名
- 売上高 : 26億円
- 事業内容 : 医療機器販売業
- 主要製品 : 透析装置、実験装置、手術器具
- 取引先 : 国公立の病院、研究所、診療所、医療機器販売業者
- 国際認証 : ISO9001、ISO13485、FDA、CEマーク
- 日本企業との取引経験 : 有

【会社概要】

インドネシア全土に加え、米国、南米、欧州、アフリカ等への輸出経験を20年以上有する医療機器販売商社。取扱製品は医療機器、診断製品、検査機器、衛生消毒製品、血液透析用品、手術器具など多岐にわたる。加えてグループ会社の3社に工場機能を有しており、医療機器・手術器具の製造、血液透析液の製造、消毒剤の製造を行う。これらの経験から、当社はインドネシア政府による CDAKB (医療機器流通のベストプラクティス)にも認定されている。現在、インドネシア政府によるトレーサビリティ向上に向けた新医療システムの導入を控え、対応を図っているところ。

商談会参加目的

■代理店契約・日本製品の販売

AIを統合した製品や、電子医療記録システムへ接続可能な製品など、最先端の医療機器、診断機器、実験器具、ヘルスケア技術を念頭に幅広く取引を希望する。革新的技術を持つ新しい製品ラインの導入と、既存製品より高度な技術・機能を持つ製品への置換え、の両面で検討する。インドネシアの規制と医療機器等サプライヤー要件に準拠させるため、同国への製品販売経験があることが非常に望ましい点と、現地流通に適し、顧客にとってリーズナブルな価格が確保される点が条件である。契約形態は、販売店契約を希望する。

■日本企業への生産委託

デジタル血圧計、デジタル聴診器、デジタル体温計、バイタルサインモニター、口腔内カメラ等を念頭に、日本企業が生産する製品を販売したい。形態はOEMであり、インドネシア市場にカスタマイズさせる必要があり、病院内の携帯電話、タブレット、電子医療記録と接続できる機能を有する必要があり、AIと機械学習が可能であればさらに望ましい。また、インドネシア政府が主導する全国統合医療システムに関する情報交換も行いたい。



科学用の製品群

MIN03

スギ・インストルメント・アバディ
PT. SUGIH INSTRUMENTO ABADI

[参加予定者] 購買部長
[本社] バンドン
[他事務所] ー
[HP] <https://www.abnmedical.com/id/home>



医療機器

- 設立年 : 1997年
- 資本金 : 1億5950万円
- 従業員数 : 378名
- 売上高 : 11億8900万円
- 事業内容 : 医療機器製造業
- 主要製品 : 血圧計、聴診器、手術器具、吸入器、歯科検査用椅子
- 取引先 : 医療機器メーカー、病院等
- 国際認証 : ISO13485、CE Mark、USFDA 510k
- 日本企業との取引経験 : 有

【会社概要】

医療機器製造メーカーとして1997年に設立、主として、高品質の血圧計や聴診器を製造、ABNブランドとしてインドネシア国内のほとんどの州の医療機関に提供している。これらに加えて外科用器具、吸入器などを生産、販売をしている。これら製品は、US FDA 510k やCE Mark、ISO13485等の国際規格を取得しており、主製品である血圧計用の生産は150,000個/月にのぼり、これらの部品は主にアメリカ (60%)、ヨーロッパ (20%)、日本 (10%)、その他中東、アセアン各国、南アフリカなどに輸出している。現在は、ヘルスケア製品も加えた新製品開発に事業を拡大している。

商談会参加目的

■日本企業からの購入

ウェアラブル技術を応用したデジタルユニット (血圧計や聴診器) の開発、生産のため、これらの機器を構成するコンポーネントや部品の購入を検討している。特に病院やクリニック向けのデジタル血圧計に関心がある。また、外科用器具や臨床用超音波吸入器、酸素濃縮器、吸引ユニットなどの電子医療機器に加え、歯科ユニット部門用のハンドピースや超音波スケーラーなどにも関心がある。これらは、完成品を購入する場合は代理店を通じ市場に提供、部品、コンポーネント購入の場合は自社で生産することになる。希望購入数は、デジタル血圧計5,000台/年、クリニック用吸入器10,000台/年。他の製品等はMOQ次第。

他、血圧計製造に必要な合成ゴムを購入しているが、価格競争力確保のため、代替品を提供できるサプライヤーを探している。具体的にはノンラテックス血圧計生産用の合成ゴムの原料で、フタル酸エステルを含有せず、標準規格をクリアしていることが必要がある。具体的には「ポリクロロブレンゴム」で、必要とする量は、年間約30トン。希望する価格は約 USD 5.00/kg (乾燥ゴム)。



天然ゴム製医療器具



インドネシア

MIN04

ユーフラト・メッド
PT.Euftrat Med

[参加予定者] 代表取締役
[本社] タンゲラン
[他事務所] ー
[HP] <https://www.euftratmed.com/>



当社取扱製品

- ・設立年 : 2011年
- ・資本金 : 8億円
- ・従業員数 : 50名
- ・売上高 : 16億円
- ・事業内容 : 医療機器輸入販売業務
- ・主要製品 : コントロールユニット、チタンアンカー、疼痛管理高周波装置、その他
- ・取引先 : 病院
- ・国際認証 : ー
- ・日本企業との取引経験 : 無

[会社概要]

2011年にタンゲランを拠点として設立し、整形外科分野のネットワークに強みを持ち医療機器を海外から輸入しインドネシア国内の病院に設備を納入設置している。主には病院向けの消耗器具から計測用高性能器具といった幅の広いラインナップを取り揃えており、国内のトップサプライヤーを目指している。この度、日本の最新技術の脳神経外科、耳鼻咽喉科向けの関節形成、関節鏡検査や疼痛管理用医療機器等を調達し、今後は海外へも販路を広げていきたいと考えている。

商談会参加目的

■日本企業からの購入

日本企業（製造メーカー及び取り扱い専門商社）から整形外科用の関節鏡検査器具、疼痛管理高周波装置、患者身体の負担軽減をするための内視鏡やカテーテルなど、身体に対する侵襲度が低い医療機器を用いた診断コンポーネントの購入を希望している。

■代理店契約・日本製品の販売

当社は、整形外科、脳神経外科、耳鼻咽喉科で使用される医療機器やその他手術器具の分野を中心に輸入販売をインドネシアで展開しているが、今後現在の製品ラインナップを補完し、当社の全国的な販売ネットワークを通じて積極的に販路開拓を行っていくこととしており、高度な日本の医療機器を供給できる日本のメーカーや医療専門商社との取引をすることに興味を持っている。



疼痛管理高周波装置



インドネシア

MIN05

イノヴァシ・メディック・インドネシア
PT Inovasi Medik Indonesia

[参加予定者] 代表取締役
[本社] プカシ
[他事務所] ー
[HP] <https://imedin.id>



製品イメージ図

- ・設立年 : 2020年
- ・資本金 : 858万円
- ・従業員数 : 28名
- ・売上高 : 6億5000万円
- ・事業内容 : 医療機器製造・卸売業
- ・主要製品 : 体重計、超音波診断装置、患者モニター、手術器具、吸引装置
- ・取引先 : 医療機器販売業者
- ・国際認証 : ISO9001, ISO13485
- ・日本企業との取引経験 : 有

[会社概要]

2020年に設立した当初は、新型コロナウイルスが発生したため、医療従事者が着用する青シール付きカバーオールの生産と新型コロナウイルス抗原の輸入を行い、政府系病院や診療所で著しい販売実績をあげた。新型コロナウイルス感染症の収束後は、輸液ポンプ、シリンジポンプ、人工呼吸器、手術灯、テーブルなどの製品で、海外の主要企業と協業している。昨年、大統領が政府保健機関に対し、インドネシア国内生産の医療製品のみを使用する指示を出して以降、当社は社内施設での組立、製造にさらに重点を置いている。3年前に設立したが、これまで約15社以上の現地代理店を通じて、インドネシア全土の市場で顧客を拡大している。

商談会参加目的

■日本企業からの購入

日本の技術とインドネシアの現地部品を組み合わせた現地医療製品の開発(リバースエンジニアリング)を希望している。インドネシアの国内生産化政策に合わせて、現地で医療製品の組み立てを行っているが、更なる品質の向上を目的として日本企業との商談を希望している。日本の製品に期待していることは耐久性に優れている点である。加えて、遠隔医療に当社が現地生産した製品を接続できるIoTテクノロジー、特にプリント回路板、ソフトウェアを求めている。

■代理店契約・日本製品の販売

インドネシアでの製造が困難な最先端の製品について、政府は海外からの輸入を認めており、当社は輸入販売を行っている。具体的には、スマート心電図やスマートバイタルサインモニターに接続できるウェアラブル診断医療機器や血液分析装置などを求めている。電気手術器、静脈ファインダーなどの新製品用、OTライト、OTテーブル、胎児ドップラーなど既存製品の置き換え用、の両面で検討している。

■共同開発・技術提携

日本で承認済みの技術を活用することで、日本企業と新たな医療機器を共同開発したい意向を有する。現在も医療機器の製造は行っているが、将来の設備投資に向け、品質や技術を向上させたい狙い。新製品の開発における当社の役割は、市場で受容される製品の特定、設計、コンポーネント探し、テスト、インドネシア保健省への登録申請などと想定している。



製造工程



インドネシア

MIN06

ベルカ・インスラーシ・メディカ
PT Berkah Instalasi Medika

[参加予定者] 代表取締役
[本社] ジャカルタ
[他事務所] ー
[HP] <https://bimsigogrin.odoo.com/>



当社取扱製品

- 設立年 : 2018年
- 資本金 : 2億6000万円
- 従業員数: 17名
- 売上高 : 4億3600万円
- 事業内容: 健康機器販売店
- 主要製品: 超音波検査機器、
シリンジポンプ
- 取引先 : インドネシア国内の病院
- 国際認証: ー
- 日本企業との取引経験: ー

【会社概要】

当社は、2018年に設立され、特に政府系を中心としたインドネシア病院向けへの医療・健康関連機器の販売を生業としている。インドネシア保険省から販売業を許可するCDAB及びSDAKを取得している。医療・健康機器用品に関連し、メンテナンスも含め顧客へ最適ソリューションを提供することを強みとする。現在は、販売・技術両面からマーケティングを展開することで、政府系以外の病院にも販売の拡大を試みると共に、今後は海外市場への進出も視野に入れている。先進的な技術を顧客に提供できるよう、製品力向上を目指し、日本企業との提携を希望している。

商談会参加目的

■日本企業からの購入

医療機関、研究所、保険省といった当社顧客に更なる付加価値を提供できるよう、革新的な日本企業の製品購入を検討したい。具体的には、計測機器、輸液ポンプ、吸引ポンプといった商品を希望しているが、これらに限らず健康機器についてもユニークな日本製品の取り扱いを希望している。また、当社は幅広く日本企業との提携を検討しており、インドネシア政府の規制も踏まえ健康機器や計測機器をインドネシアで製造することを検討する日本企業との商談を望んでいる。



当社取扱製品



インドネシア

MIN07

メドテック
PT. MEDTEK

[参加予定者] 代表取締役
[本社] ジャカルタ
[他事務所] ー
[HP]<https://www.ptmedtek.com>



蒸気滅菌機

- 設立年 : 2018年
- 資本金 : 2億1000万円
- 従業員数: 55名
- 売上高 : 2億8000万円
- 事業内容: 医療機器の製造・販売
- 主要製品: 蒸気滅菌機、遠心分離機、
手術用照明機器
- 取引先 : 医療機関、病院建設関連企業
- 国際認証: ISO9001、ISO13485
- 日本企業との取引経験: ー

【会社概要】

蒸気滅菌機、遠心分離機、手術用照明機器等の比較的シンプルな医療機器を手掛けるメーカー。インドネシアの国産化推進政策に呼応し、3年前に医療機器の製造を開始。それ以前は主に欧州から医療機器を購入していたが、購入先の技術指導と主要部材の提供によるセミノックダウン方式に切り替えた。上記の国産品に加え、外科手術器具、X線装置、AED、患者モニター等の輸入販売も継続している。インドネシアでは2025年までに医療機器の60%を国産化するという政府方針がある。また、人口が2億7000万人、病院数3,000件、クリニック数17,000件の大市場であり、今後も輸入販売と並行して現地組立を推進、拡大していきたい。



遠心分離機

商談会参加目的

■日本企業からの購入

医療機器製品の現地組立のために日本企業からの部品購入に関心がある。特に関心のある対象製品は、成人・乳幼児用のICU人工呼吸器、電気手術器（出力100W、200W、300W）。販売用途は新規病院向けの拡大、既設製品からの置き換え等。インドネシア政府からの販売承認を得た後、年50台以上の現地生産を見込む。

■合併会社の設立

部品購入や技術提携と同様に、医療機器の製造及び販売に関する合併会社の設立にも関心がある。投資金額は5億円程度、合併の拠点はジャカルタ、対象市場はインドネシア及び近隣諸国を想定している。

■共同開発・技術提携

部品購入に加え、技術面での提携による支援を必要としている。既に現地組立を行っている蒸気滅菌機、遠心分離機、手術用照明機器以外の製品に関する技術に関心がある。技術提携の拠点はインドネシア。対象市場はインドネシア及び近隣諸国を想定している。



手術室用照明機器



インドネシア

MIN08

ピナ・イクイップメント・セジャテラ
PT Bina Equipment Sejahtera

[参加予定者] 代表取締役
[本社] チアンジュール
[他事務所] ー
[HP] <https://besmedical.co.id/>



製品例：検査ランプ類



製品例：オートクレーブ、
病院用ベッド他

- 設立年 : 2016年
- 資本金 : 1800万円
- 従業員数: 30名
- 売上高 : 2億6300万円
- 事業内容: 製造業
- 主要製品: 医療機器、病院用家具製品
- 取引先 : 政府系及び私立病院
- 国際認証: ー
- 日本企業との取引経験: 有

[会社概要]

2016年に設立され、創業当時からオートクレーブ蒸気滅菌器と検査ランプの開発、製造を行っている。現在インドネシア国内では、オートクレーブ蒸気滅菌器と検査ランプを製造できる企業が希少なことから当社の主力製品としての価値は高い。その他、病院用ベッド、ベッドサイドキャビネット、シーリングマシンなどの病院用家具製品の製造を行っており、国内の医療機関に同製品を提供している。生産比率は医療機器60%、病院用家具40%となっている。また、販売だけでなくメンテナンス等のアフターサービスやユーザートレーニングにも注力している。

商談会参加目的

■日本企業からの購入

製品の品質を確保するために、製品製造に必要な高品質な電子部品について日本企業からの購入を希望している。特に国内での調達難しい、リレー、電源、メンブレンコントロールパネル、ソレノイドバルブなどの電子部品で、価格帯は1~25ドル程度を想定している。購入量は部品種によるが、年間で概ね50個から1000個程度となる見込み。また、これら部品以外に半完成品（例えば国内組み立て可能なフルコンポーネント）の購入も行いたい意向がある。

■共同開発・技術提携

インドネシアでは国内調達率規制（TKDN）があるため、完成品の輸入は困難な状況にあるため、日本の医療機器製造企業と事業連携し、インドネシア国内で最新技術を適用した製品の共同開発・技術提携を行いたい意向がある。開発した製品についてはインドネシアと日本市場への展開だけでなく、共同で第三国へ展開していくことも想定している。



インドネシア

MIN09

サランディ・カリヤ・ヌグラハ
PT. Sarandi Karya Nugraha

[参加予定者] 代表取締役
[本社] スカプミ
[他事務所] ー
[HP] <http://www.sarandi.co.id>



病院用設備



医療機器

- 設立年 : 1997年
- 資本金 : 5900万円
- 従業員数: 115名
- 売上高 : 3億5700万円
- 事業内容: 病院用備品、医療機器の製造・販売
- 主要製品: 手術台、手術用ベッド、ストレッチャー
- 取引先 : 政府系病院
- 国際認証: ISO9001、ISO13485
- 日本企業との取引経験: 有

[会社概要]

当社の取引の約90%は政府系の病院を対象としており、取扱商品は緊急治療室や手術室、処置室向けの手術台やベッド、ストレッチャー等の設備の他、滅菌機や手術灯といった電子医療機器等、多岐にわたる。ISO13485等の国際認証の他、インドネシア保健省による医療機器の製造方法を規制する認証を保有し、常に患者の快適性と安全性のため、顧客ニーズの変化を最前線で吸い上げることに注力した事業活動を実施することで国内外で高い評価を受けている。国内では大きな市場シェアを獲得している他、中東諸国への輸出も開始。世界保健機関(WHO)を通じてアジア、アフリカ等に頒布されている。

商談会参加目的

■共同開発・技術提携

商品の機能面、性能面で付加価値を高める共同開発・技術提携を希望している。製品の設計から生産技術、製造工程の改善までの協業を想定している。日本企業の優れた設計能力だけでなく、生産技術、製造ノウハウと、当社が保有する生産ライン設備と熟練した労働力の協業により、相互利益の追求と事業拡大機会の増大を目論んでいる。完成した製品は両社が一体となり、日本、インドネシア、その他の国で販売することを想定している。



インドネシア

医療機器

MIN10

テンソル・ブアナ・テクノロジー
PT.Tensor Buana Teknologi

[参加予定者] 代表取締役
[本社] ウェストジャワ
[他事務所] ー
[HP] ー



当社製品（吸引ポンプ他）

- 設立年 : 2021年
- 資本金 : 180万円
- 従業員数 : 6名
- 売上高 : 2000万円
- 事業内容 : 医療機器製造業
- 主要製品 : 吸引ポンプ、手術室用照明
- 取引先 : 政府系医療機関
- 国際認証 : ー
- 日本企業との取引経験 : ー

[会社概要]

2021年に設立し、医療機器並びに関連装置製造企業として、手術室内で利用する多岐にわたる医療機器、器具の製造に特化している。現状OEM、ODMサービスサプライヤーとして、顧客からの要望の他、マーケットのニーズに常に対応すべく、複雑な要求にも対応した高品質の製品を供給することを強みとする。主要製品は、吸引ポンプ、手術室用シーリングペンダントにて、取扱製品を拡大するとともに、IoTをベースとしたIT技術の導入を目指している。



当社製品（照明他）

商談会参加目的

■ 合併会社の設立

外科手術室や歯科診療室で使用する医療器具、具体的には照明、手術室テーブル・椅子、歯科用医療機器、関連ソフトウェアを製造するための合併会社を日本企業と設立したい。日本企業パートナーとして医療機器メーカー、ソフトウェア企業を希望する。インドネシア政府関連医療機関向けの販売が多いことから政府との関係が強く、結果として国産化率に関する規制（TKDN）につき算出方法も含め熟知していることが当社の強み。資本金は、製品によって異なるので、柔軟に議論したい。

■ 共同開発・技術提携

外科手術室や歯科診療室で活用する医療器具について技術提携を希望する。日本企業の保有する、先端技術、製造プロセス、精密加工、結果としての高品質の製品製造を、協業を通して繋げていきたい。また、IoT分野として、予約システム、更には患者に応じた座席の高さ、照明の明るさ、音響等を調整する等のソフトウェアを保有する企業があれば、是非連携を希望する。



シンガポール

医療機器

MSI01

グランド・ベンチャー・テクノロジー
Grand Venture Technology Limited

[参加予定者] 取締役
[本社] シンガポール
[他事務所] マレーシア、中国
[HP] <https://gvt.com.sg/>



様々な顧客ニーズに対応する
ワンストップ製造受託サービス

- 設立年 : 2012年
- 資本金 : 86億円
- 従業員数 : 1200名
- 売上高 : 133億円
- 事業内容 : 受託製造サービス
- 主要製品 : 金属加工、精密機械加工等
- 取引先 : 半導体、ライフサイエンス、医療、宇宙事業関連企業
- 国際認証 : ISO9001、ISO14001、ISO13485、AS9100
- 日本企業との取引経験 : 有

[会社概要]

当社は主に半導体、エレクトロニクス、ライフサイエンス、医療、宇宙事業関連企業顧客向けの受託製造サービスを行う企業で、金属加工、塗装、パワーコーティング、クリーンルーム内組立、最先端の部材マシニング等、様々な顧客ニーズに対応したサービスを提供している。現在は、シンガポール、マレーシア、中国で事業を展開している。当社の研究開発チームには、様々な分野のエンジニアが100名在籍している。自社工場スマート化のために不断の投資を行っており、今後更にサービススコープの拡大、スマート工場化を推進し、顧客満足最大化を目指している。



製造進捗管理ボード

商談会参加目的

■ 共同開発・技術提携

セラミックや石英の加工の技術やノウハウを補完するために、セラミックの加工・製造に関して高い技術力やノウハウを持つ日本企業との共同開発・技術提携を希望している。セラミック加工については、セラミック材料の金属被覆法、ろう付方法等に関する技術やノウハウを日本企業に期待している。その他、電子顕微鏡検査を含む分析方法開発、セラミック3Dプリンティング、メカトロニクスアセンブリー工法、製品ライフサイクル管理法についても関心が高い。共同開発・技術提携の拠点については、シンガポールと日本どちらでも対応できるが、当社シンガポールにある研究所を活用することも可能である。開発した製品については、欧米や欧州市場への展開を想定している。



当社のスマート工場化
ロードマップ



シンガポール

MSI02

レーザー・テクノロジー
Racer Technology Pte Ltd

[参加予定者] 代表取締役
[本社] シンガポール
[他事務所] マレーシア、インドネシア
[HP] <https://www.racermmedical.com.sg/>



取扱製品群

- 設立年 : 1988年
- 資本金 : 10億5000万円
- 従業員数 : 1200名
- 売上高 : 42億円
- 事業内容 : 医療機器製造業 (生産受託)
- 主要製品 : 分析機器、診断機器、シングルユース消耗品、試薬生産、治具・金型設計
- 取引先 : 医療機器メーカー等
- 国際認証 : ISO13485、米国FDA、CE認証等
- 日本企業との取引経験 : 有

【会社概要】

グローバルに事業を展開する医療機器の生産受託大手企業。シンガポール、マレーシア、インドネシアに生産拠点を有し、高品質な製品を競争力あるコストで提供できる。また、不適合品を低減する製品設計力、生産工程の効率化等、高い課題解決力によりプロジェクト予算と製品上市時期を最適化できる。地場のベンチャー企業、製造業者、販売業者で構成されるシンガポール・メドテック・コンソーシアム (SMC)の中核企業として、体外診断機器、ウェアラブル機器やライフサイエンス機器消耗品の分野で製造、販売両面でのソリューションを提供している。



生産受託体制

商談会参加目的

■代理店契約・日本製品の販売

多様な企業200社以上が参加するシンガポール・メドテック・コンソーシアム (SMC)の中には、ASEAN、アジア諸国を中心に欧米市場まで含めた広い販売網を有する代理店企業が存在しており、そうした地域での販路拡大を狙う日本企業に対して、販売面での提案も可能である。

■共同開発・技術提携

生産受託のバイオニア企業として、製造に係る様々な技術課題に対応可能であり、シンガポールを中心とした医療技術分野での事業開拓に関心のある企業との技術提携を求めている。具体的には、製品再設計、自社製品製造実現のための試作、量産、ワンストップ組立等での提携に特に関心がある。

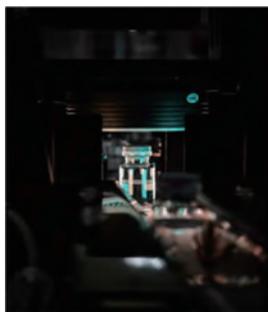


マレーシア

MMA01

グレートック・インテグレイション
Greatech Integration (M) Sdn Bhd

[参加予定者] 代表取締役
[本社] ペナン
[他事務所] 米国
[HP] <https://www.greatech-group.com>



バイアル (薬瓶) 検査機器

- 設立年 : 1993年
- 資本金 : 1億5000万円
- 従業員数 : 1400名
- 売上高 : 170億円
- 事業内容 : 自動化機械設備の製造販売
- 主要製品 : 製造工程の自動化のための機械設備製造
- 取引先 : 太陽光パネルメーカー、EVメーカー、医療機器メーカー等
- 国際認証 : ISO9001、ISO14001、ISO13485、ISO45001
- 日本企業との取引経験 : -

【会社概要】

各種産業に製造工程の自動化 (オートメーション) についてのソリューションを提供する企業。機械設備の設計・開発・製造・設備および、設置後の部品供給等のアフターサービスも手掛けている。主な顧客は太陽光パネル、半導体・電子機器、EV、医療機器等のメーカーであり、またマレーシア国内だけでなく周辺東南アジア諸国や中国、米国、ヨーロッパにも顧客を持つ。自動化の分野で20年以上の歴史と経験があり、設計およびエンジニアリングにおいて多様なニーズに応じた最適な提案を行うとともに、精密機械加工や板金加工等の必要な製造設備を自前で持つことで、費用対効果と品質に優れた自動化機械設備を世界中の顧客に提供し続けてきている。

商談会参加目的

■共同開発・技術提携

製造工程の自動化により生産効率向上とコスト低減を実現したいと考えている、日本の医療機器・医薬品関連メーカーとの商談を希望している。対象としては主に使い切り品・消耗品や診断用機器を製造しているメーカーを想定しているが、それ以外についても幅広い議論が可能である。当社はこれまで、主として薬液投与 (インジェクション) ・輸液 (インフュージョン) や薬物送達 (ドラッグデリバリー) にかかる機器・用品の製造工程や検査についての自動化を手掛けてきており、今後更に医療機器・医薬品の製造自動化の分野でのグローバルな販路および市場シェアの拡大を目指している。



使い捨てインスリン注射機組立機器

MMA02

シンメトリー・メディカル Symmetry Medical (M) Sdn. Bhd.

[参加予定者] アジア統括代表
[本社] ベナン
[他事務所] ー
[HP] <https://www.tecomet.com/>



取扱い商品

- 設立年 : 2009年
- 資本金 : 4億3400万円
- 従業員数 : 200名
- 売上高 : 35億円
- 事業内容 : 医療機器製造・販売業
- 主要製品 : インプラント、手術用機器、滅菌ケース、トレイ他
- 取引先 : 医療機器関連企業
- 国際認証 : ISO9001、ISO13485、米国FDA
- 日本企業との取引経験 : 有

【会社概要】

当社の親会社であるTecomet社は米国マサチューセッツ州に拠点を置く医療分野、航空・防衛市場向けに高精度な製品・サービスを提供する企業である。当社はアジアにおけるグループの製造受託企業であり、高品質な整形外科用インプラント、手術器具、滅菌ケース等を生産している。品質と安全性は当社のコアバリューであり、製品の製造プロセスには厳格な品質管理を徹底していると同時に、環境への配慮も重要視しつつ、持続可能性のある製造工程実現に向け努力している。また最先端の技術と専門知識を駆使し、手術室の効率向上と患者の治療結果の向上に貢献することで医療業界に革新的なソリューションを提供している。

商談会参加目的

■日本企業への生産委託

日本企業に対して、当社製品を生産委託することを望んでいる。生産を委託するにあたっては医療用インプラントや手術用機器、ケース、トレイ等の医療機器製造の経験と能力を有することが求められる。また、当社製品の製造にあたっては機械加工が重要なプロセスとなることから、CNCプログラミング、チタン及びステンレス鋼の加工処理における熟練した技術を有することが条件となる。まずは商談を通して、経験と技術に関して当社の要望を満たせるか商談において確認したい意向である。



取扱い商品

MMA03

プロフェッショナル・ツール&ダイス Professional Tools & Dies SDN BHD

[参加予定者] 代表取締役
[本社] ベナン
[他事務所] ー
[HP] <https://www.professional-tools.com/>



当社事務所

- 設立年 : 1990年
- 資本金 : 2億円
- 従業員数 : 250名
- 売上高 : 16億8000万円
- 事業内容 : 金型製造、成型、金属プレス、モジュール組立、受託
- 主要製品 : 電機・電子部品、自動車部品、航空機部品、医療機器
- 取引先 : 医療機器を含む機械製造企業
- 国際認証 : ISO9001、ISO14001、ISO16494、ISO13485
- 日本企業との取引経験 : 有

【会社概要】

金型製造、成型、金属プレス加工、モジュール組立等の受託生産を主事業とするOEM企業。金型の製造から組立、テスト工程、梱包まで対応するワンストップソリューションを提供する。特にプラスチック射出成型、金属加工、板金スタンピング、ツーリング設備を保有しており、顧客の要望に応じた部品、モジュール生産に対応できることが強みである。対応分野としては、医療機器から、自動車、電子・電気、航空機部品まで多岐にわたる。10,000クラスのクリーンルーム、CNC機器、ロボット溶接機、プラスチック射出成型機 (40t-1300t) を保有している。欧米、アジアを中心に顧客ネットワークがある。

商談会参加目的

■合併会社の設立

ASEAN諸国をターゲットに医療機器製品の開発、製造、販売を行うことを目的として日本企業との合併会社の設立を希望している。具体的な製品としては、医療・健康関連計測機器、医療用吸引ポンプ、血圧計、その他医療・健康関連機器を想定している。日本企業には開発・設計のノウハウを期待している。当社は、幅広い業種の製造企業にサービスを提供してきた実績があり、合併会社の設立に際しては、当社のワンストップ製造ソリューションを活かすことができる。合併企業の資本金想定は50万USドル前後、出資比率は日本企業との議論のなかで検討していきたい。

■共同開発・技術提携

医療・健康関連計測機器、医療用吸引ポンプ、血圧計、その他医療・健康関連機器に関して、日本企業との共同開発・技術提携を希望している。日本企業には、製品のコア機能に関する技術やノウハウを期待している。開発した製品については、ASEAN諸国に輸出することを想定している。開発製品の製造場所は当社既存工場のあるベナンを希望している。



当社製品

マレーシア

医療機器

MMA04 マレーシアン・ダイアグノスティクス・コーポレーション
Malaysian Diagnostics Corporation Sdn Bhd

[参加予定者] 代表取締役
[本社] クアラルンプール
[他事務所] —
[HP] <http://www.mdx.com.my>



販売体制

- 設立年 : 1998年
- 資本金 : 3250万円
- 従業員数 : 110名
- 売上高 : 13億円
- 事業内容 : 医療機器販売業
- 主要製品 : 診断機器、治療装置、消耗品
- 取引先 : 公立・私立の病院、診療所、研究機関、予防機関
- 国際認証 : —
- 日本企業との取引経験 : 有

[会社概要]

主に研究室や医療現場で使用される診断機器・医療機器を輸入・販売しており、マレーシアのヘルスケア業界で25年の経験がある。社内は、販売、マーケティング、コンサルティング、検査室情報ソリューション、検査室の設計部門等に分かれている。取扱製品は、体外診断、化学、血液学、イムノアッセイ、分子診断、POCT (Point of Care Testing)および血液ガス分析装置、医療用インプラント、整形外科、検査情報システムおよび検査用備品等である。今後は、透析、眼科、整形外科における革新的なソリューションによる販路拡大を企図している。

商談会参加目的

■代理店契約・日本製品の販売

当社の現在の製品ラインナップを補完し、当社が保有するマレーシア全土にわたる販売ネットワークを通じて競争力のある価格で、革新的な医療機器を供給できる日本の医療機器メーカーと取引したい。具体的にはプライマリケア、診療所向けのコンパクトで革新的な超音波装置、ハンドヘルドおよびデスクトップ眼底カメラ、POCT、イメージング、整形外科用インプラント/ツール、ロボット脊椎、骨密度検査装置 (DEXA)、透析製品、内視鏡手術器具を求めている。AI支援による革新性を備えた最新テクノロジーが望ましい。日本の薬機法の許可・承認を取得している必要があり、CEマーケティングの承認があると望ましい。



技術サービス

マレーシア

MMA05 シン・ヨン・グアン・インダストリーズ
Sin Yong Guan Industries Sdn. Bhd.

[参加予定者] 代表取締役
[本社] イポー
[他事務所] —
[HP] <https://www.medicaltubings.com>



樹脂製ホース・チューブ

- 設立年 : 1973年
- 資本金 : 5000万円
- 従業員数 : 150名
- 売上高 : 14億円
- 事業内容 : プラスチック製品の製造・販売
- 主要製品 : 射出・押出成形部品 (プラスチックチューブ等)、PVCコンパウンド
- 取引先 : 各種機械メーカー、医療機器メーカー等
- 国際認証 : ISO9001, ISO13485
- 日本企業との取引経験 : 有 (医療分野以外)

[会社概要]

各種プラスチック・樹脂製品の加工・製造を行っており、特に射出成形・押出成形及びPVCコンパウンディングに強みを持つ。技術革新と品質・サービスの向上に継続的に取り組み、多様な産業のニーズに応えることで、現在では東南アジア地域における有数のプラスチックメーカーのひとつとなっている。主力製品であるプラスチック製チューブや各種部品の供給にとどまらず、優れた樹脂加工 (コンパウンディング)、成形・製造技術により、医療機器、その他の各種産業に対して幅広くプラスチック製品の加工・製造に関するワンストップソリューションを提供している。

商談会参加目的

■共同開発・技術提携

日本の医療機器関連企業と、当社のPVCコンパウンドやプラスチックチューブ、樹脂成型部品の製造に関する技術提携、もしくはそれらを活用した医療機器・部品の共同開発について商談を希望している。また、これらの製品について、日本企業への製品供給、販売も可能である。当社はこれまで医療向けについては、主として医療グレードのプラスチックチューブやカスタムメイドの押出成形部品、およびPVCコンパウンドを医療機器メーカー等に供給してきている。



医療向け樹脂加工品・部品

医療機器



医療機器



タイ

MTH01

丸紅・タイランド
Marubeni Thailand Co., Ltd.

[参加予定者] 部長
[本社] バンコク
[他事務所] 世界各国
[HP] <https://www.marubeni.co.th/>



人工肛門



高齢者用おむつ

- 設立年 : 1974年
- 資本金 : 12億6000万円
- 従業員数 : 106名
- 売上高 : 1498億円
- 事業内容 : 卸売業、医療機器輸入販売業
- 主要製品 : 創傷ケア製品、採尿バッグ、高齢者ケア製品、ペットケア用品など
- 取引先 : 医療製品取扱企業
- 国際認証 : ー
- 日本企業との取引経験 : 有

[会社概要]

日本の総合商社のタイ現地法人。1974年に設立、現在はライフスタイル、食品、化学製品、フォレストプロダクツ、インフラ、エネルギー、金属、鉱物資源、プラント、電力、運輸、工業、機械等の幅広い分野で、多角的に事業を展開している。近年においては、FaaS (Fintech as a Service) をタイ市場に投入すべく、金融分野事業にも挑戦している。これらの事業のうち、ライフスタイル事業部門では、医療関連製品、機器（人工肛門、創傷ケア製品、高齢者介護用品、ペットケア用品など）を手掛けている。タイFDA認証を保有しており、輸入商品のライセンス取得を代行し、現地での販売も行うことが可能。

商談会参加目的

■日本企業からの購入

広範な分野の医療製品、器具を取り扱う中で、特にIVD（体外診断）用のAIテクノロジーを活用したソフトウェアの調達を希望。また併せて手術室用の使い捨て医療器具の調達も検討している。調達量や時期等については商談内容を踏まえて検討したい。上述のとおりタイ国FDA輸入ライセンス取得済であり、これらの医療関連製品の国内市場については豊富な情報と経験を有している。

■代理店契約・日本製品の販売

当社は、日本から医療ケア製品や高齢者介護用品を調達しタイ国内の事業者提供している。今次商談では、特に、独自の技術を備えたNon IVD、IVD医療機器を取り扱いたいと考えている。特に、高齢者介護用のDX製品（デジタルやAIを導入した介護製品）や、IVD用のAI技術にも関心がある。これらの製品については、最終的にはローカルの販売取扱業者に提供したいと考えているが、合わせて、病院や高齢者介護施設への販売も考えている。すでに公立・私立病院への販売実績は1000アカウントを超えており、今後は他のアセアン諸国やバングラデシュなどへの輸出も視野に入れている。



タイ

MTH02

チーム・プレジジョン
TEAM PRECISION PUBLIC COMPANY LIMITED

[参加予定者] 代表取締役
[本社] バトゥムターニー
[他事務所] ー
[HP] <https://www.teampcba.com/>



プリント基板



工場内風景

- 設立年 : 1990年
- 資本金 : 30億4500万円
- 従業員数 : 1000名
- 売上高 : 123億円
- 事業内容 : プリント基板の製造
- 主要製品 : 医療機器向けプリント基板
- 取引先 : 商社
- 国際認証 : ISO9001、ISO14001、ISO13485、ISO16949 他
- 日本企業との取引経験 : 有

[会社概要]

高品質で信頼性の高いPCB（プリント基板）製造業として国内で定評のある企業。タイ証券取引所上場企業。スルーホール、SMT（表面実装技術）、BGA（ボールグリッドアレイ）などの多様なアッセンブリー対応が可能。出荷の9割が日本をはじめ欧米諸国の顧客向けであり、社内には日本語を話すスタッフも在籍。カイゼンやトヨタ生産方式を社内開発・導入するなど、日本志向のものづくりを行っている。製品コンセプトづくりから最終製品化までデザインできる設計ラインもあり、様々な顧客ニーズに柔軟に対応できる体制を整えている。

商談会参加目的

■合併会社の設立

医療機器向けの基板供給に加えて医療機器の製造を行うため、当社の保有する製造工場やその他のリソースを活かした合併企業の設立を希望。日本人スタッフによる日本的な労働文化も取り入れており、デューデリジェンスや投資額・タイミングにもよるが、日本企業と検討する準備体制はできている。医療機器製造においては、信頼性や実績が市場浸透に不可欠と考えており、日本企業の信頼や実績を活かしつつ、低コストで市場供給できる体制を構築していく。

■共同開発・技術提携

医療業界で必要となる高い信頼性、安全性を確立するためにも、技術や知見を持つ企業と共同で医療機器向け基板の製造に向けた商談を希望。当社の基板製造技術と日本の医療機器メーカーの技術の融合、またエレクトロニクス部門のエンジニアや非電子部品の調達チームの社内リソースを活用し、低コストでアジア市場へ医療製品を供給することを目指している。

MTH03

テクノ・メディカル

Technomedical Public Company Limited

[参加予定者] 代表取締役

[本社] バンコク

[他事務所] ー

[HP] <http://www.technomedical.co.th/th/home/>



サクションライナー



手術用グローブ



内視鏡カメラ用スリーブ

- 設立年 : 2002年
- 資本金 : 6億1600万円
- 従業員数 : 100名
- 売上高 : 27億円
- 事業内容 : 卸売業
- 主要製品 : 医療関連消耗品、医療機器・器具等
- 取引先 : 公立・私立病院等
- 国際認証 : ー
- 日本企業との取引経験 : 有

[会社概要]

当社は世界各国50社の医療関連製品サプライヤーと販売代理店契約を結んでおり、病院で使用される使い捨て器具、消耗品、医療機器、医療器具の輸入販売を行っている。タイ国内でのみ販売をしており、主要顧客は大手公立・私立病院となる。取り扱い製品は、手術室の使い捨て製品、中央滅菌供給部門の使い捨て製品、研究室及び血液銀行製品、計器製品等が挙げられる。近年、これまでの販売代理事業に加え、自社によるオンライン販売事業、介護事業を行う子会社の設立など、事業の多角化に挑戦している。

商談会参加目的

■代理店契約・日本製品の販売

当社は主にICUや手術室で使用される医療用品・医療機器の輸入・販売を行っているが、現在の製品ラインナップを補完するような、革新的な医療機器・器具等を取り扱っている日本の医療機器メーカーや医療機器販売業者との取引に関心がある。特に、ICUで使用される呼吸器用使い捨て製品やVR・脳トレーニングシステム、ロボット、温度制御フードカート等の高齢者介護用の製品に興味がある。なお、当該デバイスは日本の医療機器認証を取得していること、また、CEマークを取得していることが望ましい。

MTH04

ベイラー・ヘルス

Valor Health Co., Ltd.

[参加予定者] 代表取締役

[本社] バンコク

[他事務所] フィリピン

[HP] <https://www.valorhealththailand.com>



肝機能測定装置



粉末点鼻薬

- 設立年 : 2015年
- 資本金 : 7000万円
- 従業員数 : 40名
- 売上高 : 13億3000万円
- 事業内容 : 医療機器輸入販売業
- 主要製品 : 肝機能測定器、点鼻薬、胃瘻チューブ
- 取引先 : 政府系・民間病院、クリニック、ドラッグストア、医療卸
- 国際認証 : ー
- 日本企業との取引経験 : ー

[会社概要]

主にデジタルヘルス、コンシューマーヘルス関連の製品を輸入販売する企業でタイとフィリピンに販売拠点がある。欧米メーカーの医療機器を中心に15銘柄を扱う。主力製品は肝硬度と肝脂肪量を非侵襲的に測定する装置で、ほかに粉末タイプの点鼻薬や胃瘻チューブなどを販売している。当社のオーナーは米国の製薬会社で10年間、医療業界では25年間の勤務経験がある。当社の強みは、病院、クリニック、ドラッグストア、医療卸、健康ショップ、コンビニエンスストア等、多岐にわたる販売チャネルを有していることである。更に自社でクリニック (Valor Clinic)も経営しているので患者に直接アクセス・ヒアリングできることも特徴である。

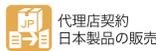
商談会参加目的

■代理店契約・日本製品の販売

日本の厚労省の認可を有する革新的な医療機器を扱う日本企業とタイにおける販売代理権について討議したい。特に関心のある分野は、消化器、メタボリック症候群、疼痛管理、高齢者ケア、整形外科におけるデジタルヘルス、特殊医療機器、コンシューマーヘルス等である。ドラッグストアや病院・クリニック向けに多くの販売チャネルを有するので、購入量次第では自社ブランドでの販売代理権にも関心がある。

■合併会社の設立

上記の医療分野を対象とした製造・販売拠点の合併に関しても討議したい。タイで合併の生産拠点を設立し、タイ国内及びタイ国以外の海外企業向けの販売を共同で行いたい。合併による事業拡大、海外進出を検討している企業や後継者問題を抱えている日本のパートナー候補との商談に期待している。



タイ

医療機器

MTH05

M.E.メディテック
M.E. Meditek Co., Ltd.

[参加予定者] 取締役
[本社] バンコク
[他事務所] チャチュンサオ
[HP] <https://www.meditek-thailand.com/>



医療バッグ、授乳バッグ、他

- 設立年 : 1971年
- 資本金 : 8000万円
- 従業員数 : 501名
- 売上高 : 13億5800万円
- 事業内容 : 医療機器の製造、販売
- 主要製品 : 輸液セット、バッグ、チューブ、経腸栄養剤バッグ
- 取引先 : 病院、商社
- 国際認証 : ISO13485、タイFDA
- 日本企業との取引経験 : 有

[会社概要]

1971年創業の輸液セット、チューブ、経腸栄養剤バッグ等を製造する医療機器メーカーである。1988年に日本の大手製薬会社と合併会社を設立。5%の資本を受け入れており、現在は約3600㎡の広大な敷地にて事業展開している。2011年には東部チャチュンサオに工場を拡張し、経腸栄養製品群と鼻整形用シリコンインプラント生産のため新規に製造ラインを増強。更に2022年にはクリーンルームを備えたプラスチック製品を製造する最新工場を設立し、全量を日本の顧客向けに輸出している。主な製品群は大きく5つのカテゴリーに分類され、輸液、輸血セット、栄養製品、医療チューブ、医療バッグ等がある。

商談会参加目的

■合併会社の設立

東南アジア地域での事業拡大に関心のある、特にプラスチック、点滴液、体外療法、チューブやバッグ、獣医関連分野における付加価値の高い日本の医療機器企業との合併会社の設立を希望している。当社はタイとベトナムを拠点に日本企業と合併ビジネスを立ち上げ、パートナーと長年にわたる関係を構築してきた。医療分野では、複数の工場で血液透析用の血液チューブラインを製造し、世界中の複数の国々に製品を供給するなどの実績を有している。当社は、高品質の製品、ソリューションを提供するために、高い専門性を持つ日本企業と長期的なパートナーシップを確立することを常に目指している。

■共同開発・技術提携

現在、タイ以外の輸出市場での事業機会を求めているが、当社とともに市場に適合した製品の共同開発、事業開発で協業可能な日本企業との商談を希望している。当社は新製品の開発と製品の商業化に向けて、病院等の臨床パートナーと緊密に連携しており、滅菌機能を備えた「ドリップアンドドレイン」方式の使い捨て医療用品の開発、製造を専門としている。顧客のニーズを満たすための「ラピッドプロトタイプングサービス」を提供する社内研究開発チームを有している。



医療用チューブ、輸血セット、他



タイ

医療機器

MTH06

デバイス・イノベーション
Device Innovation Co., Ltd.

[参加予定者] 購買部長
[本社] バンコク
[他事務所] ー
[HP] www.deviceinnovation.com



関節鏡機器



関節手術用注射器

- 設立年 : 1997年
- 資本金 : 6500万円
- 従業員数 : 50名
- 売上高 : 7億8000万円
- 事業内容 : 医療機器の輸入・販売
- 主要製品 : 関節鏡、及び周辺機器、消耗品
- 取引先 : 病院、クリニック
- 国際認証 : ー
- 日本企業との取引経験 : 有

[会社概要]

医療機器の輸入・販売会社で特に整形外科手術分野では、関節鏡（内視鏡の一種）を取り扱っており業界のリーダー的存在である。医者のトレーニングや教育機関とも提携して最新機器の導入に関わっている。整形外科分野での医療機器取扱範囲を増やすべく、外科手術用電子機器、手術ロボット、AIを利用した最新機器等の導入に興味がある。また関節鏡関連では、生体吸収性インプラント他、整形外科手術用消耗品全般に取扱いを広げたい。ヘルスケア用にガン検査、健康診断等のパッケージを紹介するサイトも運営していて、最近では日本の高齢者向けヘルスケア商品や老化防止用の遺伝子、幹細胞関連製品等、日本の優れたサービス全般を導入したい。

商談会参加目的

■日本企業からの購入

最新の整形外科手術に関する電子機器の導入を希望する。25年以上、主にアメリカ、ドイツ製品を輸入してきたが、日本の外科手術用最新機器（手術ロボット、AIを組み込んだ機器等）を取り扱いたい。特に関節鏡周りの付属品、消耗品、生体吸収性インプラント等に興味があり、取扱品目を拡充したい。またパーソナルヘルスケア分野では、ガン検査や健康診断パッケージを販売するサイトを運営しており、病院やクリニックに強いネットワークを有する。最近では日本の健康診断システムや老化防止用の薬、特に遺伝子、幹細胞関連製品にも興味があり、タイに導入できないか検討したい。

■合併会社の設立

タイにおける病院、クリニックに対する強いネットワークを基盤に、ヘルスケア分野での製品供給やサービス提供を行う合併会社を日本企業と立ち上げたい。特に老化防止に係わる日本の最新技術・サービスを中心に導入したい。



タイ

MTH07 C.C.オートパート
C.C.AUTOPART CO., LTD.

[参加予定者] 代表取締役
[本社] チャチュンサオ
[他事務所] ー
[HP] <http://www.ccautopart.co.th/#/home>

医療機器



当社が製造するデンタルスケーラー

- 設立年 : 1990年
- 資本金 : 2億1000万円
- 従業員数 : 180名
- 売上高 : 5億2500万円
- 事業内容 : 機械製造業
- 主要製品 : 歯科医療機器ほか各種機器
- 取引先 : 医療・歯科機器卸売業者
- 国際認証 : ISO9001, ISO14001, ISO13485, TS16949
- 日本企業との取引経験 : 有

[会社概要]

自動車部品や産業機械の製造受託を請け負うとともに、バンドソー、ウォータージェット切断機、プラズマ切断機、プレス機等の産業用機械も製造、販売している。その後医療機器製造に進出し、医療・歯科医療機器の製造を多く手掛けている。また、2015年にはスリットセーバー（汚泥分離機）の販売に関して、日本企業と合併会社を設立するなど日本企業との協働経験は豊富である。本商談会では医療機器の部品を日本企業から調達することや日本企業との将来的な連携可能性を見出すため、商談会に参加している。

商談会参加目的

■ 日本企業からの購入

超音波デンタルスケーラー（歯垢除去装置）、そのパーツ、またそれ以外の歯科医療機器や歯科医療機器のパーツを日本企業から調達したい意向を有しており、商談する日本企業との将来的な開発や製造を見据え、ISO13485を取得している日本の部材製造企業との商談を希望している。

■ 合併会社の設立

将来的に新たな医療機器・歯科医療機器の開発や製造をテーマとした合併会社の設立に向けた商談を希望している。当社工場で製造する新製品をアジアに広く供給できる体制を構築したい意向を有する。スリットセーバーで日本企業との合併会社の設立実績を有することから、新たにタイに拠点を構えたい医療機器製造業者との商談を希望している。



当社が製造する歯科診察台



タイ

MTH08 インテリジェンス・システム・コーポレーション
Intelligence System Corporation Co.,Ltd.

[参加予定者] 代表取締役
[本社] バンコク
[他事務所] ー
[HP] <https://insysc.com/>

医療機器



医療用RFID

- 設立年 : 2014年
- 資本金 : 800万円
- 従業員数 : 18名
- 売上高 : 5200万円
- 事業内容 : 医療用遠隔管理システム 開発・販売
- 主要製品 : 医療用RFID識別機器、診療管理システムなど
- 取引先 : タイ国内の病院、医療研究機関
- 国際認証 : ISO9001, ISO13485, ISO14064, CE
- 日本企業との取引経験 : ー

[会社概要]

2014年に設立された、タイ国内の医療業界における業務効率化を目的とした各種機器のソフトウェアからハードウェアまで取り扱っている企業。主には医療向けRFIDシステムを運用できるようにRFIDリストバンドを開発。患者が治療、調剤など医療の手順を正しく実行されているか専用システムで確認ができる。さらには治療結果を表示したり、オンラインカルテで病歴を瞬時に表示できるシステムをタイ国内の病院などの医療機関に導入しており、今後海外へ販路を広げていく。

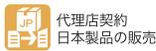
商談会参加目的

■ 代理店契約・日本製品の販売

IoTを駆使した医療用技術力の高い日本と提携し、患者の救急外来看護師のための緊急度判定支援ツールや、ファストトラック疾患モニタリングなどのシステムソリューションを組み込んだ製品の購入を希望。具体的には医療用RFID関連機器や、患者の傍に置いて使用されるバイタルサイン管理測定機器などを想定している。



医療分野学会



医療機器



タイ

MTH09 CMED メディカル
CMED Medical Co., Ltd.

[参加予定者]代表取締役
[本社] バトゥムターニー
[他事務所] チェンマイ
[HP] <https://cmedmedical.com/>



立位車椅子 (C-Standing)

- 設立年 : 2016年
- 資本金 : 400万円
- 従業員数 : 12名
- 売上高 : 3200万円
- 事業内容 : 医療機器設計・製造
- 主要製品 : 立位車椅子、患者リフター
- 取引先 : 病院、介護施設他
- 国際認証 : ISO13485、IEC60601-1
- 日本企業との取引経験 : 有

【会社概要】

当社はタマサート大学発のスタートアップとして2016年に設立された企業であり、医療機器の設計及び製造を得意としている。当社で初の開発製品となる立位車椅子は、2006年から大学内で開発が進められ、2017年に市場導入。更に2018年には、車椅子と車両間における患者の移動を介護者1人で可能にする独自機能を備えた「患者リフター (CMEDホイスト)」を開発、市場導入を果たし好評を得ている。当社はタイ国内で立位車椅子や患者リフターを製造できる唯一の企業であり、病院や施設だけでなく、一般消費者向けにも展開しており、タイ国内でトップクラスの販売数を誇っている。

商談会参加目的

■日本企業からの購入

当社製品の品質や機能向上を図るため、各種部品を日本企業から購入することを検討している。特にホイール、ブレーキ、ガススプリング、制御装置等の部品に関心を持っている。また、複合材料の使用による製品の重量軽減についても関心がある。一般的な標準部品は中国や台湾から購入可能であるが、日本製品を使用することによる製品自体の機能や美観の向上、グローバル市場で受け入れられる製品になることを目指している。

■代理店契約・日本製品の販売

当社製品を補完する革新的な医療機器が供給可能な日本企業との商談を希望している。当社は病院、介護施設、リハビリテーションセンターの他、個人利用も対象に製品を販売しているが、その際、医療ベッドや車椅子、クッション、移動補助具等の関連製品を必要とされる場合があることから、当社製品と同時に顧客に対して貢献可能な商品を探している。これらの商品は日本での医療認証の取得が必須である他、CE認証を取得していることが望ましい。当社とパートナーシップを組む日本企業には、タイ全土にわたる販売ネットワークの活用、プレミアム価格での販売を通じた事業機会の拡大というメリットを提供可能である。



患者リフター (CMED Hoist)



ベトナム

MVN01 ニペクスコ
Nipexco Co.,Ltd.

[参加予定者] 取締役
[本社] ホーチミン
[他事務所] ラオス、カンボジア
[HP] www.nipexco.com



当社取扱製品

- 設立年 : 2005年
- 資本金 : 6億6300万円
- 従業員数 : 23名
- 売上高 : 8億4500万円
- 事業内容 : 医療機器販売、設置及びアフターセールス
- 主要製品 : 超音波検査機器、MRI検査機器
- 取引先 : インドネシア国内の病院
- 国際認証 : ISO13485、FDA、CE
- 日本企業との取引経験 : 一

【会社概要】

当社は、さまざまな国の医療機器メーカーの代理店となってベトナム全土に医療機器を販売している。主要顧客は、病院や医療センターであり、販売、保証、アフターセールスまで手掛けている。医療分野に精通する専門家とスタッフを有しており、MRIシステム、医療照明機器の設置にも対応することができる。現在は、医療機器の販売のみを行っているが、将来的には自社製造を検討しており工場の建設計画を構想している。また、ホーチミン以外にラオス、カンボジアに事務所を構え、輸出業務の実績も有している。

商談会参加目的

■代理店契約、日本製品の販売

日本の医療機器製造企業の、ベトナムにおける販売代理店となることを希望し商談会に参加するもの。具体的には、手術室で使用する機器、殺菌剤、画像診断機器等が取扱希望商品だが、それらの商品に限らず、技術力の高い日本企業と提携し、ベトナムの病院のニーズに応じることができる商品の販売を実現したい意向である。



当社取扱製品

医療機器

MVN02

チョン・ティン・メディカル・イクイップメント・コーポレーション
TRONG TIN MEDICAL EQUIPMENT CORPORATION

[参加予定者] 代表取締役
[本社] ホーチミン [他事務所] ハノイ
[HP] https://www.dnb.com/business-directory/company-profiles.trong_tin_medical_equipment_corporation.a539d21b722df7137c78266a40792b01.html



インターベンション、手術関連ディスプレイ



エラストマー輸液ポンプ

- 設立年 : 2007年
- 資本金 : 4億2000万円
- 従業員数 : 150名
- 売上高 : 8億4000万円
- 事業内容 : 医療機器の輸入販売
- 主要製品 : 心血管インターベンション器具、麻酔関連機器
- 取引先 : 政府系病院、歯科クリニック等
- 国際認証 : ISO13485
- 日本企業との取引経験 : ー

[会社概要]

主にクリティカルケア関連のディスプレイ製品を扱う輸入販売業者。取扱分野は、麻酔関連、ICU、ER、インターベンション、心肺関連、手術室設備、人工呼吸器等多岐に渡る。米国、英国、ドイツ、韓国等の医療機器メーカーから製品を輸入している。ベトナム国内に200件以上の医療機関をカバーする販売網を有し、ベトナムのチョーライ病院、カントー市総合病院、ダナン病院、ベトドク病院等、全国主要都市の中核病院と良好な関係を有する。

商談会参加目的

■代理店契約・日本製品の販売

現有製品の品揃えを補完するために、放射線治療、心血管治療、化学療法、麻酔術等に関連したシングルユース医療機器や小型で特徴ある医療機器のベトナムにおける販売代理店権の討議に関心がある。具体的には、AIBP（大動脈内）バルーン、ステント、マイクロカテーテル、エラストマー輸液ポンプ等の製品に関心が高い。希望価格は製品品質や製品価値に依るが、競争力のある製品であれば、現在の年間600万ドルの売上高に対して100~300万ドル相当の新規製品購入の検討が可能である。

MVN03

タン・ビエト・マイ・トレーディング・サービス
Tan Viet My Trading Service Co., Ltd.

[参加予定者] 取締役
[本社] ホーチミン
[他事務所] ホーチミンに別拠点あり
[HP] <https://tanvietmy.net>



医療機器の例



排水処理装置の例

- 設立年 : 1997年
- 資本金 : 9383万円
- 従業員数 : 25名
- 売上高 : 3億8000万円
- 事業内容 : 医療機器及び水処理関連機器の卸売業
- 主要製品 : 血液透析用のRO水濾過器、腎臓透析装置など
- 取引先 : 公立・私立病院、療養所
- 国際認証 : ISO9001、ISO13485
- 日本企業との取引経験 : ー

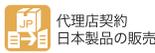
[会社概要]

ベトナム全土の病院や療養施設に医療機器や医療消耗品を供給する商社。新規事業として環境コンサルティングサービスも提供し、公害や環境問題の解決に最適な処理技術ソリューションの提供も行っている。ベトナムでは日本製の医療機器の人気が高く、現在は、RO膜、MBR膜を日系代理店を経由して輸入し、ベトナム国内向けに販売している。当社では特に血液透析・腎臓透析に関する装置やその周辺機器類、ICUや手術用機器など、規格に適合した機器類の調達を広く希望。また、病院排水処理プロジェクトに参画予定のため、排水処理タンクの調達も希望している。

商談会参加目的

■日本企業からの購入

医療関連機器及び排水処理関連機器に関して日本企業からの購入を希望している。医療関連機器に関して具体的には、ROシステム（血液透析装置）、血液透析装置用消毒パイプ洗浄システム、皮膚科や美容に使用される機器、手術室用ガス滅菌システムの購入を希望している。日本の医療機器はベトナムで非常に人気があり、現在は主に、RO膜、MBR膜を日系代理店を経由して輸入しベトナム国内向けに販売している。購入する製品について、日本国内の規格を満たすことやCEマーク取得は必須条件となる。また、排水処理関連機器に関しては、日本製の複合材料を使用した廃水処理タンクの購入を希望している。ベトナムで病院排水処理に特化した大規模プロジェクトに参画予定で、2024年から2025年にかけてプロジェクトの実施を計画している。医療関連商品及び排水処理関連機器のいずれの製品もベトナム国内市場向けに展開することを想定している。



医療機器



ベトナム

MVN04

ベトナム・テクニック・サイエンス・サービス・アンド・
トレーディング・プロダクション
VietNam Technique Science Service And Trading Production Joint Stock Company

[参加予定者] 取締役
[本社] ホーチミン
[他事務所] ー
[HP] <http://vinascience.com.vn/>



リハビリ機器 1



リハビリ機器 2

- 設立年 : 1997年
- 資本金 : 1300万円
- 従業員数 : 30名
- 売上高 : 2600万円
- 事業内容 : 医療機器製造、卸売業
- 主要製品 : 医療・リハビリ機器の卸売
- 取引先 : 商社・販売店
- 国際認証 : ー
- 日本企業との取引経験 : ー

[会社概要]

医療機器の供給や医療排水の処理技術に関するソリューション提供を専門とするホーチミンの企業。医療機器では、手術用、麻酔用、産科・小児科用、滅菌用機器などを中心に扱う。その他、リハビリ器具、理科学研究用の顕微鏡や分光光度計、医療施設向けの排水処理・固形廃棄物処理の設備なども扱いあり。

日本企業との取引実績はこれまでなく、革新的な機能を持つ医療機器、ヘルスケア機器、高齢者介護やリハビリテーション向けの機器を供給できる日本企業との商談を希望。

商談会参加目的

■日本企業からの購入

リハビリ用器具、理学療法用器具、超音波器具、心電図を日本企業より購入したい。また、医療機器、ヘルスケアに関する設備機器類や、高齢者介護・理学療法・リハビリに関する器具の提案を広く募りたい。一方で、これらに限定せず広く新しい提案を受けたいが、医療機器についてはISO13485認証を取得しているものを希望。主たる商圏はベトナム国内だが、カンボジアなど周辺国への輸出も行っており、今後も販路を広げていきたいと考えている。



フィリピン

MPH01

グループ・EMS・インコーポレイテッド
Gruppo EMS Incorporated

[参加予定者] 取締役
[本社] ビニャン
[他事務所] 東京、ロンドン、クアラルンプール
[HP] <https://www.ems.com.ph/emsg/>



医療用フェースマスク



ATM

- 設立年 : 2004年
- 資本金 : 19億5000万円
- 従業員数 : 17000名
- 売上高 : 136億5000万円
- 事業内容 : 電子機器の製造受託
- 主要製品 : 自動車部品、医療機械、その他電子機器
- 取引先 : 国内大手医療機器メーカー、国内大手電機メーカー、大手自動車部品メーカー等
- 国際認証 : ISO9001、FDAus、IATF16949
- 日本企業との取引経験 : 有

[会社概要]

半導体、医療、自動車、航空宇宙、軍事分野等におけるEMS企業である。顧客の多くはフィリピンに拠点を置く日系企業であり、日本、マレーシア、ハンガリーでも事業を展開している。国内の17,000人の従業員はカイゼンの考えに基づき従事しており、顧客に高い品質の製品を納めている。また、当社は通常のEMS以外に、製造委託企業が機械、原料、技術等をフィリピンに持ち込み、当社が建屋(生産スペース)、製造設備、人材、管理者を用意し、取り決められた品質を製造するユニークな方法も取り入れている。当社の高い技術を有する従業員と様々な製品に対応可能な高速かつ最先端の表面実装機等に関するノウハウ、更にはこれまでの顧客との信頼関係が当社の強みである。

商談会参加目的

■合併会社の設立

フィリピンで操業を始める日本の電子機器を中心とした製造メーカーとの事業提携を希望している。医療機器においては、注射器、カテーテル、血糖値測定器等、これまでに多数の製造受託実績を有する。また事業提携の形態は単なる製造受託だけでなく、日系企業が機械、原料、技術を提供し、当社が建屋(生産スペース)、製造設備、人材、管理者を用意し、取り決められた品質の製造を保障する方式も検討することが可能。この方式であればフィリピンで操業を始める日本企業は低リスク、最小限の資本投資で事業を実施することが可能となる。

医療機器

MPH02

ザメッズ・メディカル・システム
ZAMMEDS MEDICAL SYSTEM

[参加予定者] 代表取締役
[本社] ケソン・シティ
[他事務所] シンガポール、カナダ
[HP] <http://www.zammedsph.karlgroupp.org>



フィリピンの
医療ショーケース デポ



医療ショーケース
デポの展示スペース

- 設立年 : 2015年
- 資本金 : 6900万円
- 従業員数 : 30名
- 売上高 : 3億4800万円
- 事業内容 : 商社、医療機器、消耗品の輸入販売業
- 主要製品 : 放射線科、ICU、手術室などの医療機器
- 取引先 : 病院、診療所、大学医学部、研究機関
- 国際認証 : FDA US, CE
- 日本企業との取引経験 : 有

【会社概要】

医療・ヘルスケア市場を広範にカバーするカールグループホールディングス株式会社の子会社であり、病院向けの医療機器と大学向けのシミュレーション製品を販売している。関連する子会社としてバイオメディカルテック製造会社、トレーニングアカデミー、ショールームがある。社長は、フィリピン医療機器協会の会長も務めており、病院や医学部と良好な関係を構築し、フィリピン全土に販売している。日本製品をはじめ、欧米、中国、オーストラリアなど世界各国の医療機器製造業者と取引をしている。今後は、製造分野にも拡大し、フィリピン国内市場はもとより海外市場への輸出も視野に入れている。

商談会参加目的

■代理店契約・日本製品の販売

フィリピン全土のスマートホスピタルに納入するPOCT、IoTなどのデジタルヘルスケア分野の医療機器製造業者を探している。具体的には、X線、超音波、Cアーム、マンモなどの放射線製品、研究室や外来用のポイント・ケア製品、AIやデジタル技術を活用したソリューション製品、遠隔医療製品に興味がある。また、医療学校や看護学校に販売できる医療製品も探している。仕様は、220V、単相、60ヘルツである。価格を重視し、日本の価格と比較・検討を行っていききたい。

■合併会社の設立

当社の全国販売ネットワークを通じてプレミアム価格で革新的な医療機器を流通させる合併契約が可能な日本の製造業者や販売業者との協業を希望している。規模は、新病院に全て日本製の医療機器を供給するような、大規模プロジェクトとして、金額は5億2000万円から7億8000万円を想定している。ターゲットは、マニラ、セブ、ダバオの戦略的な立地にある病院。具体的には放射線科、ICU、手術室の機器を取り扱いたい。日本の薬機法の認証・承認を取得する必要があり、CEマーキングの承認があることが望ましい。

MTW01

クリスタルビュー・メディカル・コーポレーション
Crystalvue Medical Corporation

[参加予定者] 代表取締役
[本社] 桃園市
[他事務所] ー
[HP] <https://www.crystalvue.com.tw/zh-tw>



当社製品（内視鏡関連）



当社製品（眼科用機器）

- 設立年 : 2009年
- 資本金 : 11億2000万円
- 従業員数 : 110名
- 売上高 : 36億4000万円
- 事業内容 : 医療機器製造販売
- 主要製品 : 眼科用医療機器、消化管内視鏡関連機器
- 取引先 : 国内外の病院、クリニック
- 国際認証 : ISO13485、FDA、CEマーク
- 日本企業との取引経験 : 有

【会社概要】

2009年設立、眼底カメラ・眼圧計等の眼科用医療機器や消化管内視鏡関連機器の製造販売を生業としており、台湾においては大学病院も含め100以上の病院、クリニックに製品を販売している。製品の品質はもちろんのこと、開発やマーケティングの強力な専属チームが強みである。台湾全土にセールスエンジニアを配置しており、国外においても輸出先は60か国以上に及ぶ。常に新しい技術導入と革新的な製品開発に努めており、今回も新しい技術や新製品を導入するためのパートナーを求めて商談会に参加。

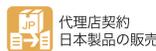
商談会参加目的

■代理店契約・日本製品の販売

日本製の消化管内視鏡検査に関する使い捨て機器を台湾国内で販売するために、日本企業との代理店契約を希望している。当社は、消化管関連商品において、台湾におけるマーケットシェア3位を確保しており、既に消化管内視鏡検査に関連する使い捨て商品を台湾全土に販売しているが、より良い製品を顧客に提供するために、日本製の新製品、高品質製品の販売を行いたい意向。また、検査・治療に活用する柔らかく軽いチューブの内視鏡他、内視鏡関連商品の提案も期待する。9つの一流大学病院を含め100を超える国内の病院、クリニックへの販売ネットワークに対して販売していくことを想定している。

■共同開発・技術提携

当社は眼科用器具の設計、製造を行っており、眼科向けのOCT（光干渉断層撮影の技術）、その他眼科関連商品について日本企業との共同開発・技術提携を希望している。当社の強みは経験豊富な開発・設計チームであり、日本企業との連携をすることで、更に革新的な技術を取り込むことを期待している。また、事業連携の方法についても、当社工場でのOEM受託生産含め、日本企業の要望によって柔軟に対応したい。



台湾

MTW02

シン・ヤン・シェノ・プレジジョン・インダストリアル
SHIN YAN SHENO PRECISION INDUSTRIAL CO., LTD.

[参加予定者] 代表取締役
[本社] 台中
[他事務所] ー
[HP] <http://medical-part.com.tw/>

医療機器



各種活栓類



各種シリンジ類

【会社概要】
医療機器用の金型生産やPVC、PP、PC、TPE等の原材料を使用した使い捨て医療器具の生産を主たる事業としている。主な製品は、血液透析回路セット・部品等のプラスチック射出成形医療器具や射出成型用金型部品等であり、これらの金型とその射出成型製品の両方のODM・OEMサプライヤーである。2005年にはISO13485認証を取得し、国内市場及び海外市場における医療機器の製造ライセンスを取得している。血液透析回路セットの金型製品に関して台湾市場の80%以上のシェアを誇る。また、当社にはISOクラス7及びISOクラス8のクリーンルームを完備しており、このような空気清浄度環境のもと、製品の射出成形および組立を行っている。

商談会参加目的

■日本企業からの購入

高品質な針やカテーテルについて日本企業からの購入を希望しており、これら製品を取り扱うサプライヤー等と商談を行いたい意向がある。購入製品の優先順位としては注射針が最優先であり、購入する製品は、当社製品と同様にISO13485に準拠していることが条件となる。なお、求める製品は上述した製品に限らず、当社製品のラインアップに関連したものであれば広く討議を行いたく、日本企業からの提案を期待している。



台湾

MTW03

ヴィスジェネール
Visgeneer Inc

[参加予定者] 取締役
[本社] 新竹市
[他事務所] ー
[HP] <https://www.visgeneer.com/en/>

医療機器



当社本社

【会社概要】
当社は血液診断、EU特許スキンケア、ゼアキサンチン、がん遺伝子検査を含む健康ソリューションを提供する。台湾を拠点とし、80か国以上で当社製品を販売するグローバル企業である。「新たな世界を構想する。健康状態にかかわらず、最大限豊かな人生を送ることに貢献したい。」というのが当社のビジョン。世界各国で活用されている血液モニタリングシステム、アンチエイジングスキンケア、がん遺伝子診断と製品は多岐にわたり、体外診断用医薬品、スキンケア製品については受託製造サービスも提供している。当社の技術を更に高めるべく日本企業との提携を希望する。

商談会参加目的

■共同開発・技術提携

当社の保有するがん遺伝子療法の技術について、商業化を模索するために日本企業との事業連携を希望している。例えば、当社が保有する「がん診断」の技術を、「がん治療」へと発展させることで業務基盤を拡大したい意向を有する。また、当社の強みはEUやUSで特許を保有する簡易な悪性リンパ腫の診断技術であり、その技術を他のがん診断・治療にも適用したいと考えている。販売先は台湾国内のみならず、既存の80か国以上の販売代理店での展開を視野にいれている。



当社検査関連製品

MTW04 デンタル
dentall Co., Ltd.

[参加予定者] 取締役
[本社] 台北
[他事務所] ベトナム
[HP] <https://global.dentall.io/>



AIを活用した歯科診断ソフトウェアdentallAI



当社の歯科治療管理システムdentallHiS



台北本社

- 設立年 : 2016年
- 資本金 : 5億4700万円
- 従業員数 : 80名
- 売上高 : 4億500万円
- 事業内容 : システム、ソフトウェア開発
- 主要製品 : 歯科診断統合システム、歯科治療管理システム等
- 取引先 : 病院、歯科クリニック
- 国際認証 : ー
- 日本企業との取引経験 : ー

【会社概要】

2015年創業後、歯科医師や技師そして歯科医院を対象とした歯科情報統合プラットフォームを開発・販売している。このプラットフォームを通じ、歯科医師への教育や歯科治療に関わる研修プログラムの提供をしたり、治療に係る歯科材料の調達を行うことができる。他にもクラウドベースでの業務管理システムや医療管理コンサルティングシステム等をカバーした包括的ソリューションを提供している。現在は台湾国内中心のビジネス展開であるが、今後は東南アジア、日本市場への進出も視野に入れている。

商談会参加目的

■ 共同開発・技術提携

日本の保険会社等とのシステム開発や事業提携を希望している。歯科情報統合プラットフォームとAIを活用した歯科診断ソフトウェアソリューションを利用することで、歯科診断や治療が保険適用を受けられる新しいビジネスモデルの実現に向けて取り組みを行いたい。連携パートナーとは保険適用のためにどのような条件が必要か基礎調査を行い、その上でシステム制度設計、試作品製作を進めていきたい。2年程度でこの新しいビジネスモデルを事業化し、BtoBからBtoCマーケットにも販路を広げていきたいと考えている。

MK001 チョソン・インストルメント
Chosun Instrument Co., Ltd.

[参加予定者] 取締役
[本社] ソウル
[他事務所] ベトナム
[HP] <https://chosunii.com/>



当社取扱製品



当社取扱製品

- 設立年 : 1975年
- 資本金 : 5億9000万円
- 従業員数 : 50名
- 売上高 : 23億円
- 事業内容 : 医療機器製造販売
- 主要製品 : 医療用ガス供給器具、多目的手術台、人工呼吸器等
- 取引先 : 韓国医療機関、その他海外の医療機関
- 国際認証 : ISO13485、ISO9001、GMP
- 日本企業との取引経験 : ー

【会社概要】

1975年に設立以来、救急医療機器等の製造販売会社として、韓国の医療機器市場を開拓し、併せて医療ガス供給システム設計と製造販売を行ってきた。現在は医療用ガス供給器具、多目的手術台、医療用サージカルライトなど広範囲な製品ラインナップが特徴である。当社はベトナムに製造拠点となる現地法人Vikomed社を設立し、緊急救助機器、人工呼吸器などの高度な医療機器に加えて、X線やCアームなどの画像機器を製造している。今回日本の在宅医療、医療施設のデジタルヘルス分野で技術力のある日本企業と製品を求め商談会に参加するもの。

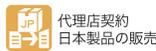
商談会参加目的

■ 代理店契約・日本製品の販売

在宅ケア、介護施設、病院、医療施設向けの酸素濃縮装置や高齢者用介護製品や、デジタルヘルス分野の医療機器の購入を希望。具体的には小池メディカルガス装置など。

■ 共同開発・技術提携

今後日本と韓国の両国で急速に進む高齢化に向け、在宅医療や高齢者介護分野での最先端の製品開発を目的として、10,000平方メートルの製造施設であるベトナム工場にて日本の高度技術を融合しあいながら製造技術のアップグレードも行っていきたいと考えている。



医療機器



韓国

MK002 GBT コリア
GBT KOREA

[参加予定者] 代表取締役
[本社] 軍浦市
[他事務所] ー
[HP] <http://www.gbtkorea.com>



ポータブルX線システム



モバイルX線システム



歯科用CT・パノラマ X線システム

- 設立年 : 2002年
- 資本金 : 2600万円
- 従業員数: 35名
- 売上高 : 9億1000万円
- 事業内容: 医療機器製造業
- 主要製品: X線発生装置、歯科用パノラマ X線診断装置、電子システム等
- 取引先 : 医療機器メーカー
- 国際認証: ISO13485、AS9100 MDD CE、IECEE CB
- 日本企業との取引経験: 有

[会社概要]

X線発生装置開発とシステム開発を専門とするメーカー。ISO13485取得企業で、X線分野における各種システム開発のノウハウが豊富。医療分野ではポータブル、モバイル、CT・パノラマ、マンモグラフィ、CアームなどをOEM/ODM方式で開発、生産している。社内はX線発生装置の開発・製造を行う部門と、X線システム開発を行う研究開発部門の2部門体制であり、CEOは日本企業で技術開発やライセンス供与のために勤務した経験を有する。共同開発経験が豊富で、サンプル開発を同社が行い、他社に技術移転し市場化に成功した事例を有する。

商談会参加目的

■共同開発・技術提携

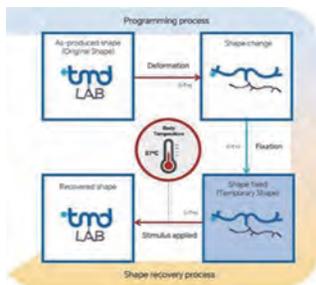
共同でX線発生装置の開発や既存製品の品質向上を進めることを期待している。世界的な市場競争激化、認証取得の難易度が高まりを見せるなか、日本のX線関連産業が培ってきた知見と当社の若手エンジニアの日本での開発・製造サポートを組み合わせ、世界中の顧客ニーズに対応できると考えている。具体的には、X線発生装置およびX線電子システムに関連する電子回路の設計・開発・製造といったハードウェアの制御・開発と、ソフトウェアプログラミング、ファームウェアプログラミング、モーター制御、センサー制御などのソフトウェア開発を行うことができる。



韓国

MK003 TMDラボ
TMD LAB Co., Ltd.

[参加予定者] 代表取締役
[本社] ソウル
[他事務所] ー
[HP] <https://tmdlab.com/en/>



体温で元の形状に戻るSMP

- 設立年 : 2018年
- 資本金 : 1億1000万円
- 従業員数: 24名
- 売上高 : ー
- 事業内容: 新素材の研究開発
- 主要製品: 形状記憶ポリマー (SMP) 素材・製品の研究開発
- 取引先 : 化学品メーカー、バイオメディカルメーカー等
- 国際認証: ー
- 日本企業との取引経験: ー

[会社概要]

ポリカプロラクトン (PCL) ベースの形状記憶ポリマー (SMP) 技術とそれを応用した低侵襲医療機器の開発を行う。当社が開発した「INNOSELF®」は、独特の体温応答性とバイオフィルム抑制効果を備えた形状記憶素材で、研究開発から応用の段階へと進んでいる。その他、生体適合性、非分解性、生分解性、調整可能性に優れている。パウダー、フィラメント、ペレットなど多様な形態で提供可能であり、押出、金型成型、3D印刷などの生産に対応可能。代表者はアメリカや韓国の大学で教職を歴任しており、これまで数多くの受賞歴と総額1,880万ドルを超える研究開発助成実績がある。

商談会参加目的

■共同開発・技術提携

当社の新素材の用途を共同で開発できる企業との商談を希望。想定される用途として、医療機器（眼科用、ステント、プロテゼインプラントなど）、3D印刷、繊維（スマートテキスタイル）などがある。当社SMPの最大の特徴は、体温による回復力とバイオフィルム抑制効果にあり、製品の一部または全部の材質の改良や代替を希望する日本のメーカーとの共同開発に関心が高い。また、上記用途にとらわれず、潜在的なニーズに対応するための技術提携にも関心がある。流通チャンネルを持ち、自前の工場や研究開発施設を持っている企業との商談を希望。ライセンスを供与した技術移転も検討可能。



INNOSELF®の特長



インド

MID19 KM ベスト・メディカル・ワークス
KM BEST MEDICAL WORKS PVT LTD

【参加予定者】 代表取締役
【本社】 マドゥライ(タミル・ナドゥ州)
【他事務所】 コインパトル(タミル・ナドゥ州)
【HP】 <https://mindmade.co/km-bio/>

ヘルスケア・介護



医療用ベッド

- 設立年 : 2010年
- 資本金 : 7億円
- 従業員数 : 18名
- 売上高 : 14億円
- 事業内容 : 医療用ベッド製造業
- 主要製品 : 医療用ベッド、ストレッチャー
- 取引先 : 病院、ヘルスケア業界
- 国際認証 : ISO13485、米国FDA
- 日本企業との取引経緯 : ー

【会社概要】

1994年に事業を開始以来約25年にわたりインドでの医療機器の販売促進に取り組んでいる。2010年にISO13485を取得し製造業務を開始したことで同年を設立年としている。2016年にはKM Best Medical Worksとして新たに事業展開を開始した。医療用ベッド、ストレッチャー、在宅介護用ベッドの設計、製造、販売を通じて、患者、医療提供者、介護者に優れた技術と快適で安全な体験を提供している。インドの経済誌「The CEO」にて「インドで最も信頼できる医療機器企業25社」として表彰される等、同国における医療発展に多大な貢献を果たしている。

商談会参加目的

■代理店契約・日本製品の販売

現在の当社製品ラインナップを補完する製品を取り扱う日本企業との商談を希望している。特に日本の在宅医療製品、老人介護用製品に関心を持っている。具体的にはホームモニタリング製品、VRを活用した認知症体験システム等、新たなテクノロジーを活用した製品、サービスを求めている。当社はインド全土に有力な病院を顧客として有していることから、当社のパートナーとなる日本企業にはインド市場への参入機会を提供することが可能である。

■共同開発・技術提携

日本の医療用ベッドメーカーとスマートICUベッドの共同開発、または製造に関する技術提携を望んでいる。インドにおける完成品輸入は関税や物流コストの観点で大きな課題となることから、日本企業が持つ医療、介護分野における最新技術、例えば生体遠隔監視技術等を当社のベッドに組み込むことによる製品の高機能化を目的とした共同開発と、インドでの生産による低価格化を目的とした技術提携を想定している。高機能化と低価格化といった対極にある目的を双方同時に両立させることを追及することで、巨大なインド市場における事業拡大の機会を提供することが可能である。



ブランドロゴ



インド

MID20 エース・マイクロマチック・マニュファクチャリング・インテリジェンス・テクノロジーズ
Ace Micromatic Manufacturing Intelligence Technologie Pvt Ltds

【参加予定者】 代表取締役
【本社】 ハンガロール(カルナータカ州)
【他事務所】 ー
【HP】 <https://www.acemicromatic.net/>

ヘルスケア・介護

IoT & Industry 4.0



AmiT企業イメージ

- 設立年 : 2013年
- 資本金 : 7000万円
- 従業員数 : 75名
- 売上高 : 4億2000万円
- 事業内容 : サービス業
- 主要製品 : IoT技術を活用したInd4.0ソリューション
- 取引先 : 自動車産業、工業部品製造業など
- 国際認証 : ー
- 日本企業との取引経緯 : 有

【会社概要】

工作機械メーカーのAce Micromatic グループで2013年、Ind4.0分野のバイオニアの企業（一部門）として事業を開始した。金属切削や成形向けのCNC、PLC及びRCLマシンにディスクリット製造業向けのIoTプラットフォームを構築した。このプラットフォームは、生産監視、企業ワークフロー・トレーサビリティ・ERP結合、機械メンテナンス管理、エネルギー監視などのアプリケーションが付随しており、企業の収益アップに貢献している。これまで、100を超える顧客との協業の経験を積んでおり、今後もプロジェクトの迅速な立ち上げと、企業規模プロジェクトへの入札を計画している。今後2年間でさらに体制整備の強化を図る予定。当社のIoTプラットフォームを医療機器メーカーに活用してもらうことで、生産性、サービスパラメータ、応答時間の向上に貢献することが出来ると考えている。

商談会参加目的

■日本企業からの購入

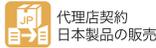
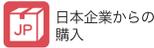
現在大規模導入向けの、OS互換性を備えた超低コストのエッジゲートウェイの開発に課題を有している。そのため、クラウド接続を備えた低コストのセンサーを日本企業から調達したい意向である。

■共同開発・技術提携

日本企業との共同開発・技術提携を通じてIoTエッジハードウェアの設計、試作、量産を希望している。また、当社が開発したソフトウェアプラットフォームのグローバルスケールリングについても共同開発の希望を有する。なお、連携に当たっては、Ace Micromatic グループ会社の CNC、PLC、機械設計の専門家からなるオンデマンドチームを配置し、主要な設計イニシアティブと初回の設計作業に協力する予定。



PLCハードウェア



インド

MID21

イニト・インク・アンド・サンプリティクス・テクノロジーズ
INITO Inc. and Sampltycs Technologies Pvt Ltd

[参加予定者]取締役
[本社]バンガロール(カルナータカ州)
[他事務所] サンフランシスコ
[HP]<https://www.inito.com/en-us/>

ヘルスケア・介護

Inito is a smartphone attachment for diagnostic tests



スマホと連携した家庭用排卵検査リーダー

INITO - Product



排卵周期ホルモン検査キット

- 設立年 : 2018年
- 資本金 : 14億円
- 従業員数: 160名
- 売上高 : 8億9000万円
- 事業内容: ヘルスケア医療機器開発販売
- 主要製品: 排卵周期ホルモン検査キット
- 取引先 : 医療機関及びオンライン販売
- 国際認証: ISO13485
- 日本企業との取引経験: -

【会社概要】

当社は2018年にインド・バンガロールで医療機器開発を目的に設立、R&D本社機能をインドに置き、販売会社を米国サンフランシスコに設立している。2019年にシリコンバレーアクセラレータープログラムスタートアップ事業として排卵周期ホルモン検査キット開発事業がY Combinator(ワイコンビネイター)に選ばれたことによりFDAを取得し、米国市場への参入を果たしている。既に20,000組以上から信頼の医療機関への販売をスタートさせた。今回日本の開発及び販売でのパートナーを求め商談会へ参加する。

商談会参加目的

■日本企業への生産委託

当社は家庭で簡単にホルモン検査ができる排卵周期ホルモン検査キット、検査リーダーを製造販売している。当社の製品を日本市場向けにカスタマイズし日本で販売したいと考えている。カスタマイズには医療機器に関する技術ノウハウを持つテクノロジーパートナーや販売パートナーと協力する必要がありインド、米国、日本の排卵周期ホルモン検査分野の相乗効果を生むために開発技術を常にアップグレードしたいと考えている。



インド

MID22

アプタ・フット・セキュア
Apta Foot Secure Private Limited

[参加予定者] 代表取締役
[本社] バンガロール(カルナータカ州)
[他事務所] バンガロール内に5センター
[HP] <https://footsecure.com/>

ヘルスケア・介護



足底圧スキャン

- 設立年 : 2018年
- 資本金 : 7000万円
- 従業員数: 15名
- 売上高 : 1800万円
- 事業内容: 足専門のヘルスケア製品
- 主要製品: 足疾患のソリューション、治療用シューズとインソール
- 取引先 : 病院、靴製造メーカー等
- 国際認証: -
- 日本企業との取引経験: -

【会社概要】

当社は、足病学(足と足首)に特化したソリューションを推進し、臨床プロトコルと運用プロトコルの両面に注力する企業である。糖尿病性末梢神経障害、糖尿病患者における末梢血管疾患などを中心領域とし、同疾患に起因する足の切断を防ぎ、活動的なライフスタイルと痛みのない歩行体験の提供を理念とする。足病クリニック、靴などの製品、管理用ソフトウェアの提供、教育、研究活動などを行っている。創業者は足病外科医かつ創傷ケアスペシャリストで、2020年にインドのカルナータカ州政府とタイムズのヘルスケア賞からライジングスターを受賞している。今後は、インド全土の病院と連携し、足専門病院を設立する計画を立てている。

商談会参加目的

■代理店契約・日本製品の販売

足病診断装置、メッドテック、治療用履物、治療用脚具、足用装置およびギアなど、診断・治療に必要な足病製品をインドで販売したい。足病診断装置の詳細は、糖尿病性神経障害の早期発見および糖尿病性血管障害の診断装置、DFU(糖尿病足病性潰瘍)用の高度なドレッシング、DFD(diabetic foot disturbance)のマーカー、ポイントオブケア評価装置である。契約形態は、独占販売契約を取得したい。

■合併会社の設立

足病専門病院の設立をするため、適切な資金提供と戦略面でパートナーとなってくれる組織を探している。具体的な治療は、足首の置換術、腱の転移、血管形成術、組織移植、創傷ケア/壊死組織の除去、トラウマ、シャルコーの再建を行う予定である。資金は15億6,000万円程度必要と見積もっている。うち10%程度を当社は出資する予定である。

■共同開発・技術提携

足病学を理解し、AI学習やアプリの開発を行える企業、またフットギア、脚装具、ポイントオブケア評価装置、その部品を製造する企業との協業を希望する。デジタルが進歩した現代において、患者が自ら専門家等々を訪問し、サイズの測定や型の採取を行うのではなく、アプリやシステム利用により患者自身がオーダーメイドのカスタム装具や治療用靴を利用できるプロセスを構築していきたい。



糖尿病患者向けの
カスタムシューズ



インド

ヘルスケア・介護

MID23

プライオリティーズ・メイド・イージー・テクノロジー
Priorities Made Easy Technology Pvt Ltd

[参加予定者] 代表取締役
[本社] プバネーシュワル (オリッサ州)
[他事務所] ー
[HP] <https://www.primeforyou.in/>



当社が開発したIoT技術を駆使した自動薬剤ディスペンサーMedCase

- 設立年 : 2018年
- 資本金 : 14万円
- 従業員数: 4名
- 売上高 : 60万円
- 事業内容: IoTソリューション開発
- 主要製品: 自動薬剤ディスペンサー
- 取引先 : 医療機器メーカー、電子機器メーカー
- 国際認証: ー
- 日本企業との取引経験: ー

[会社概要]

IoT技術を活用したソリューションを提供するスタートアップ企業であり、産業用から家庭用まで幅広くソリューションを提供している。主力商品は、IoT技術を駆使した自動薬剤ディスペンサーであり、本商品は患者の服薬管理（時刻、回数、量、服薬履歴等）をすべて自動で行うことが可能である。慢性疾患を持つ高齢者や、老人ホーム及び病院等の医療機関向けに設計されている。現在、パイロット版が完成して量産体制の確立を目指し、グローバル展開を図っていく計画。また、インド政府及びオリッサ州政府の優良スタートアップ企業に認定され、インド国内で複数のスタートアップ支援機関から資金調達を成功させており、将来性の高い企業である。

商談会参加目的

■ 合併会社の設立

IoTを駆使し様々な患者への服薬管理アプリケーションを開発する中で、今後の量産を図るためにも、製品に使用可能な高品質な電子部品を開発、製造する生産拠点としての合併会社を日本企業と共に設立したいと考えている。提携する日本企業はヘルスケアアプリケーションを開発、製造している企業が望ましい。

■ 日本企業への生産委託

IoTを駆使した服薬管理アプリケーション製品である自動薬剤ディスペンサーの生産委託を検討している。求める性能として、服薬時間のリマインダー、食前・食後時の通知、服薬忘れのアラート、残薬の有効期間アラート、12時間以上連続使用可のバッテリーバックアップ等であり、100万個/年の製造を想定している。



インド

ヘルスケア・介護

MID24

サウンドリアー
Soundlear Private Limited

[参加予定者] 取締役
[本社] ダンバード (ジャールカンド州)
[他事務所] ー
[HP] ー



当社の開発中の聴覚認識デバイス（試作品）

- 設立年 : 2019年
- 資本金 : 200万円
- 従業員数: 7名
- 売上高 : ー
- 事業内容: 通常の補聴器が利用できない難聴者向け聴覚認識デバイスの開発、製造、販売
- 主要製品: 聴覚認識デバイス
- 取引先 : NGO (非政府組織)
- 国際認証: ー
- 日本企業との取引経験: ー

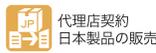
[会社概要]

2019年に設立されたインドのスタートアップ企業であり、片方の聴覚に問題を有す部分難聴者が利用可能な聴覚認識デバイスの開発を行っている。特殊な技術を利用して国内に約1億人存在する部分難聴者の問題を解決するために、安価でかつユーザーフレンドリーな聴覚認識デバイスの供給を目指している。将来的には近隣国の市場進出も視野に入れている。現在は試作品の製作、評価の段階であり、日本企業との連携を通じて品質の向上や量産を実現することを目的に商談会に参加する。

商談会参加目的

■ 共同開発・技術提携

聴覚認識デバイス開発のために日本企業との共同開発・技術提携を希望している。当社製品は、部分難聴者向けに設計されており、インド国内に約1億人いると言われていた部分難聴者の問題を解決するために量産に向けた試作を進めている。日本企業には、聴覚認識に必要な半導体チップについて技術とノウハウを期待している。開発した製品については、インド国内での販売を想定しているが、将来的には近隣国への展開も視野に入れている。



インドネシア

ヘルスケア・介護

MIN11

ネクタース・ナチュラ・カリヤ
PT Nectars Natura Karya

[参加予定者] 代表取締役
[本社] ボゴール
[他事務所] ー
[HP] <https://nectars.id>



当社製品

- 設立年 : 2020年
- 資本金 : 92万円
- 従業員数 : 16名
- 売上高 : 1040万円
- 事業内容 : 化粧品製造販売業
- 主要製品 : ナチュラル&オーガニック スキンケア製品
- 取引先 : 化粧品、スキンケア関連企業
- 国際認証 : CPKB BPOM (インドネシア FDA)
- 日本企業との取引経験 : 有

[会社概要]

天然・有機原材料を使用したスキンケア製品（美容液、保湿液、クレンジングオイル等）を製造・販売。当社は、インドネシア食品医薬局からCPKB（優れた化粧品製造業者）証明書を取得している。ボゴール農科大学との提携で、伝統製法と植物由来の厳選材料を使用する上、同大学から販売成績が最も高いパートナー企業として受賞されている。人工的で刺激の強い化学物質の使用を避け、加工・製造工程にこだわることで、肌に優しく健康リスクが少ない、環境にも配慮した製品を提供している。今後は、インドネシアだけでなく日本や中東・東南アジアのイスラム圏、欧米など、海外市場への輸出を目指し、製造・流通・販売の規模を拡大したい。

商談会参加目的

■代理店契約・日本製品の販売

刺激の強い化学物質が非含有で、天然オーガニック成分にてスキンケア、ボディケアするというビジョンを同じくする日本企業のパートナーを探している。あらゆる品目について幅広く製品の取り扱いを検討したい。スキームは実績がある委託販売を希望。現在の販路は、直営店またはEC（電子商取引）により、BtoC販売を行っている。今後自然化粧品を方針とする日本企業と共同ブランドを立ち上げたいとも考えている。

■共同開発・技術提携

スキンケア・ボディケア製品製造に向けたナノテクノロジーや自然保護技術、植物由来素材の日焼け止めクリームまたは関連技術を共同開発する日本企業を探している。高度な植物成分抽出の技術や、日本の高度な研究から生まれた植物を当社の製品と組み合わせる技術提携も行いたい。提携範囲は加工技術や量産化であり、今後ハラル認証を取得して、東南アジアや中東、欧米市場にも輸出を広げていきたい。

■日本企業への生産委託

上述の技術を有する日本企業への生産委託を希望する。条件は、委託スキームで発注し、共同販売に同意することを重要視している。20代から50代までの男女で、教育を十分に受けた中流から上流の、購買力が高い所得層をターゲットとしている。



当社製品とラボ



シンガポール

ヘルスケア・介護

MSI03

ネウロ
Neuro Pte. Ltd.

[参加予定者] 代表取締役
[本社] シンガポール
[他事務所] ー
[HP] <https://www.neuro.com/>



当社の子供向けデジタル注意改善プログラム Cogo (特許取得済)



自社開発脳波測定デバイス SenzeBand2

- 設立年 : 2013年
- 資本金 : 9億700万円
- 従業員数 : 30名
- 売上高 : 5500万円
- 事業内容 : 脳コンピューター・インターフェース技術を利用したADHD、認知症、ストレス障害者向け治療用アプリの開発・販売
- 主要製品 : 注意力改善アプリCogo等
- 取引先 : 病院、クリニック、学習センター、介護施設
- 国際認証 : ISO13485
- 日本企業との取引経験 : ー

[会社概要]

考えることで通信することが出来るブレイン・コンピューター・インターフェース技術を専門とするグローバル企業である。そのコアテクノロジーであるNeeuroOSは人間の脳信号を分析することを備えた人工知能が搭載されたプラットフォームで、医療従事者、研究者等に医療情報を提供することが可能で、注意力、リラクゼーション、精神的負荷、疲労等からストレスを測定します。また、他のサービスとNeeuroOSを組み合わせることで、注意欠如・多動症の子供、脳卒中患者、認知リハビリテーションなどの神経に関する問題に対する補完的なメンタルウェルネスとなっている。

商談会参加目的

■共同開発・技術提携

脳の健康を志向する事業展開を推進する日本企業との商談を希望している、具体的には、Neeuro治療アプリの国内ローカリゼーションと国内臨床試験実施を目指したい意向。また、ITを利用した遠隔診断についても検討が進んでおり、正確かつ迅速な医療情報を提供するソリューション等を開発、販売する日本企業との技術提携を希望している。シンガポール政府より治療用アプリ開発の先端企業として、臨床試験支援等の様々な支援を受けており、既にシンガポールで臨床試験を終了し、今後日本を含むアジア、欧州、北米へ順次事業展開する。

ヘルスケア・介護

MMA06 **メドクリン**
MEDKLINN INTERNATIONAL SDN BHD

[参加予定者] 取締役
[本社] シャーアラム
[他事務所] シンガポール
[HP] <https://my.medklinn.com/>



当社の空気滅菌装置



オゾン水システム



空気滅菌装置とオゾン水システムを統合した滅菌ソリューション

- 設立年 : 2009年
- 資本金 : 1200万円
- 従業員数 : 20名
- 売上高 : 3億500万円
- 事業内容 : 業務用、家庭用の空気滅菌システムの製造販売
- 主要製品 : 空気滅菌装置、オゾン水発生装置等
- 取引先 : 食品工場、ホテル、飲食店、空港等
- 国際認証 : ー
- 日本企業との取引経験 : 有

[会社概要]
独自のケミカルフリー予防衛生技術 (CerafusionTMにて特許取得済み) による疾病予防、生活環境改善用の空気滅菌装置やオゾン水発生装置を製造・販売している。ヘルステック企業として高い技術、開発力を有し、CerafusionTM 予防衛生技術により製品化された商品は空気中や装置表面に付着するウイルス、バクテリア、カビ、アレルゲン、臭気、汚染物質の99.9%を除去することが可能。業務用、家庭向け装置をマレーシア国内に加え、アセアン、香港、マカオ、ドイツ、オーストラリアにも販売展開しており、日本市場への展開も現在進行中。 今後は農業分野への進出も視野に入れている。

商談会参加目的

■日本企業からの購入

CerafusionTMによる空気滅菌装置やオゾン水発生装置を構成する小型ナノ・マイクロバブルポンプ、水中のオゾン濃度を測定するオゾンセンサー、オゾン耐性が高いミニファン、高電圧変圧器コンポーネント等を取り扱う日本企業から購入を希望。
また、購入と合わせてMedklinn社としても上記コンポーネントを製造することを検討しており技術力の高い日本企業からのアドバイスや共同開発も希望。

ヘルスケア・介護

MTH10 **ベダリー**
Bederly Co.,Ltd

[参加予定者] 代表取締役
[本社] パトゥムターニー
[他事務所] ー
[HP] <https://bederly.com/>



スマートベッド



スマートマットレス

- 設立年 : 2018年
- 資本金 : 1300万円
- 従業員数 : 5名
- 売上高 : 400万円
- 事業内容 : 医療用家具の製造販売
- 主要製品 : スマートベッドとマットレス
- 取引先 : 病院
- 国際認証 : FDA, IEC 60601-1, IEC 62304
- 日本企業との取引経験 : ー

[会社概要]
当社はスラナリー工科大学の研究室からスピノフしたスタートアップ企業で、寝たがりの患者や老人向けのIoTシステムを利用したスマートベッド開発。現在ではAI技術を用いてスマートベッド利用効果を分析する製品の開発も手がけている。今後約3億円を投資し本格的な量産体制に移行し、短期的にはタイ国内以外にラオス、マレーシアで販売を開始し、将来的には、中東や環太平洋地域への事業進出も視野に入れている。商談会には、より精度の高い医療AIシステムを開発するために、AIなどの医療機器の量産や技術開発に関心のあるパートナーを求めて参加している。

商談会参加目的

■日本企業からの購入

アクチュエータモーター装置の製造販売に経験と実績を有する日本企業からスマートベッド用アクチュエータモーター装置の購入を希望している。購入した製品は当社のスマートベッドに活用したい意向である。当社のスマートベッドは、通常の医療用ベッドと異なり横向きに回転でき、また椅子の位置を調整できる機能がある。この機能により介護士への怪我リスク軽減、また患者への圧迫潰瘍を予防することができる。また、患者のバイタルサインを追跡するセンサーとして使用できるデバイスの購入も希望しており、こちらについても、当社既存製品と組み合わせることを想定しており、最初はテスト用で小ロットの購入を希望している。

■共同開発・技術提携

当社既存製品の品質向上のため、スマートベッド用のアクチュエータモーター装置に関して日本企業との共同開発・技術提携を希望している。また、血圧や心拍数など計測するセンサーに関する技術やノウハウに関しても関心があり、これらに知見の高い日本企業との商談を希望している。なお、共同開発・技術提携の実施場所はタイ国内を想定している。



日本企業からの購入



代理店契約
日本製品の販売



合併会社の設立



共同開発
技術提携



日本企業への生産委託

タイ



MTH11

ビー・レディ・インダストリ
Be Ready Industry (Thailand) Co., Ltd.

[参加予定者] 取締役
[本社] スパンブリー
[他事務所] バンコク
[HP] <https://beklear.co.th/en/>



“Be Klear”



Be Klearの使用方法

- 設立年 : 2021年
- 資本金 : 1850万円
- 従業員数 : 5名
- 売上高 : 300万円
- 事業内容 : 製造業
- 主要製品 : 野菜や果物の洗浄剤
“Be Klear”の製造販売
- 取引先 : 野菜や果物の流通関係者、病院
- 国際認証 : JECFA, HACCP, GMP
- 日本企業との取引経験 : -

[会社概要]

野菜と果物の洗浄剤である“Be Klear”を製造販売。活性炭が汚染物質や有毒物質を吸着する特性に着目し、マヒドン大学公衆衛生学部と研究を続け、野菜の鮮度をよみがえらせ、清潔で新鮮な野菜果物類を提供できる洗浄剤を開発。活性炭を1000度で加熱して製造方法は特許取得済。原料は天然キャッサバの根であり、ほぼすべての細菌、バクテリア、農薬に有効。野菜や果物の鮮度回復や風味保持の観点から野菜や果物の流通業界や病院で主に使用されている。本商品の新たな展開に関して日本企業との商談を希望している。

商談会参加目的

■ 日本企業からの購入

Be Klearの日本市場への販路拡大も視野に入れつつ、商品包装の効率化・包装資材の省資源化に関する設備機器や包装資材、包装技術を供給できる企業や、日本の高品質な洗浄剤や石鹸など当社商品販売とシナジーのありそうな商品の調達が可能企業との商談を希望。当面は小規模となるものの、これらについて広く日本企業からの提案を受けたい。

ベトナム



MVN05

フック・クアーン・コンストラクション・インポート・
アンド・エクスポート・カンパニー
Phuc Khang Construction Import & Export Company

[参加予定者] 代表取締役
[本社] ハノイ市内
[他事務所] ハノイ市フースエン県に工場を所有
[HP] <https://nguyenkhangecogreen.com/>



当社が製造販売する病院向けLED照明器具・システム



商業施設向けLED照明システム

- 設立年 : 2022年
- 資本金 : 375万円
- 従業員数 : 80名
- 売上高 : 1800万円
- 事業内容 : 環境に優しい照明器具の製造販売
- 主要製品 : 照明器具
- 取引先 : 病院、建設会社、病院用商品販売商社
- 国際認証 : -
- 日本企業との取引経験 : 有

[会社概要]

当社は環境に優しい商品を提供することをミッションとし、顧客の要望によりLED照明器具・システム、室内装飾商品等を病院、工業団地、商業施設等向けに製造・販売している。照明器具は輸入・輸出も手掛けており、欧州ブランド照明器具の正規販売代理権も有している。今後は、日本の最新技術を使った商業施設用等新規建設工事案件向けの環境に優しいLED照明、システムの輸入販売も検討している。

商談会参加目的

■ 代理店契約・日本製品の販売

日本の最新技術を使った商業施設用等新規建設工事案件向け装飾用LED照明の輸入代理店となりベトナム市場での販売展開を連携したい。適当な連携日本企業とその製品が見つければ、ベトナムにおける展示会への出展、積極的な顧客への紹介を計画している。

ヘルスケア・介護

ヘルスケア・介護

MHK01

カルチャー・ホームズ・ヘルスケア
Culture Homes Healthcare Company Limited

[参加予定者] 代表取締役
[本社] 香港
[他事務所] ー
[HP] <https://www.culturehomes.com.hk>



自社店舗外観



自社店舗内部

- 設立年 : 2001年
- 資本金 : ー
- 従業員数 : 133名
- 売上高 : 20億円
- 事業内容 : 介護施設運営、介護福祉用品販売業
- 主要製品 : 介護福祉サービス、介護福祉用品
- 取引先 : 病院、薬局、介護施設等
- 国際認証 : ー
- 日本企業との取引経験 : 有

【会社概要】

香港において介護福祉用品の流通販売（卸・小売）及び介護福祉サービスの提供を行う企業であり、この分野で20年以上の歴史と経験を持つ。流通販売に関しては、病院や介護施設、薬局、スーパー等への販売に加えて、自社店舗網での小売を行っており、世界各地の優れた介護・福祉・リハビリ用品を香港の消費者に提供している。また、商品の販売だけでなく、老人ホームの運営及び在宅ケアサービスの提供も行うことにより、総合的・包括的アプローチにより高齢者の生活の質の向上を目指している。香港に根付いた地元企業として、地域と共に、持続可能な社会・環境を作り上げ、将来に向けた街の発展と住民の生活の質の向上に貢献していきたいと考えている。

商談会参加目的

■日本企業からの購入

日本の先進的なテクノロジーを活用したスマートケアシステムや介護福祉リハビリ用品を香港市場に展開したいと考えており、それらを製造販売する日本企業との商談を希望している。自社の施設・サービスでの活用に加えて外部への販売の両方を想定している。スマートケアシステムについては、介護対象者の個人データ（食事等の生活情報や医療情報）を管理するシステムや、徘徊や転倒を発見防止するシステム、その他介護スタッフの業務の効率化や負担軽減に役立つシステムを探索している。なお自社施設での活用については、既に顔認証を活用した徘徊発見機能を含む統合ケアシステムを導入済みであり、現時点では室内での転倒防止機能（レーダーを使ったもの）を探索している。介護福祉リハビリ用品については、日常生活の介助に役立つ製品について幅広く探索している。例えばサプリメントや介護食品、歩行器、入浴補助用品等である。なおこれらシステム・製品を日本から導入するにあたっては、日本の介護施設等において既に2年以上の使用実績があること、中国語・英語対応が可能であること、アフターサービスが提供できることが望ましい。

MK004

ヤング・ケミカル
YOUNG CHEMICAL CO., LTD.

[参加予定者] 代表取締役
[本社] 金海市
[他事務所] ソウル
[HP] <http://www.youngchemical.co.kr/>



絆創膏（伸縮タイプ）



サージカルテープ



止血テープ

- 設立年 : 1986年
- 資本金 : 1026万円
- 従業員数 : 85名
- 売上高 : 26億円
- 事業内容 : 創傷被覆材製造、販売
- 主要製品 : 絆創膏、サージカルテープ
- 取引先 : ドラッグストア、輸出国の有名ブランドOEM
- 国際認証 : ISO13485、FDA、GMP
- 日本企業との取引経験 : 有

【会社概要】

創傷被覆材、所謂絆創膏メーカーで、傷口保護用の包帯、治癒促進用ハイドロコロイドタイプ（湿潤療法）、固定用のサージカルテープを生産している。自社ブランド「PLAID」での製造、販売の他、OEMでの製造比率も高く、輸出（売り上げの約35%）を始めて30年以上、40か国を超える実績がある。主な輸出国は米国、パキスタン、インド、エジプト、台湾、シンガポールで、日本での販売実績は有していない（韓国の販売代理店経由で少量の輸出はある）。昨今は、美容への関心とK-Beautyの影響により、米国向けの輸出においては親水コロイドスポット製品の輸出が急速に拡大している。

商談会参加目的

■日本企業からの購入

絆創膏の包装材と絆創膏の粘着面に貼る剥離紙を日本企業から調達したい意向を有する。剥離紙は年間で1,200,000Mほど調達しており、素材はPVCやPUが適している。包装紙は絆創膏のサイズにより異なるが、73X18mmのスタンダードだけでも379,000M使用している。一部日本品の輸入もある。包装紙には粘着性能と黄ばみ（変色）しないことが主な品質要求事項となる。また、創傷被覆材用の国際品質規格に合格して韓国食品医薬品安全庁への登録が必要である。

table of contents

国別目次

| 国名 | ページ | 管理番号 | 企業名 |
|----------|-----|-------|---|
| ● インド | p6 | MID01 | サイリックス・ヘルスケア |
| | p7 | MID02 | ベット・メディカル |
| | p7 | MID03 | アライド・メディカル |
| | p8 | MID04 | アクシャット・バイオメディカルズ |
| | p8 | MID05 | CNCインディア・ツールズ&サービス |
| | p9 | MID06 | フューチャー・メディケアー |
| | p9 | MID07 | RTWOヘルスケア・ソリューション |
| | p10 | MID08 | サイジェニクス・バイオテック |
| | p10 | MID09 | ユニラボ・テクノロジーズ |
| | p11 | MID10 | ニューオリガミ・オートメーション |
| | p11 | MID11 | ミューズ・ダイアグノスティクス |
| | p12 | MID12 | ジール・エレクトロメック |
| | p12 | MID13 | ステライル・ワールド・テクノロジーズ・LLP |
| | p13 | MID14 | レナリックス・ヘルス・システム |
| | p13 | MID15 | オジブ・テクノロジー |
| | p14 | MID16 | イーティス・ロボティクス・ソリューション |
| | p14 | MID17 | テラナウティラス |
| | p15 | MID18 | ラマーク・バイオテック |
| | p35 | MID19 | KM ベスト・メディカル・ワークス |
| | p35 | MID20 | エース・マイクロマチック・マニュファクチャリング・インテリジェンス・テクノロジーズ |
| | p36 | MID21 | イニト・インク・アンド・サンプリティクス・テクノロジーズ |
| | p36 | MID22 | アプタ・フット・セキュア |
| | p37 | MID23 | プライオリティーズ・メイド・イージー・テクノロジー |
| | p37 | MID24 | サウンドリアー |
| ● インドネシア | p15 | MIN01 | グラハ・テクノメディカ |
| | p16 | MIN02 | アバディ・ヌサ・ウサハセメスタ |
| | p16 | MIN03 | スギ・インストルメンド・アバディ |
| | p17 | MIN04 | ユーフラト・メッド |
| | p17 | MIN05 | イノヴァシ・メディック・インドネシア |
| | p18 | MIN06 | ヘルカ・インスタラーシ・メディカ |
| | p18 | MIN07 | メドテック |
| | p19 | MIN08 | ピナ・イクイップメント・セジャテラ |
| | p19 | MIN09 | サランディ・カリヤ・ヌグラハ |
| | p20 | MIN10 | テンソル・ブアナ・テクノロジー |
| | p38 | MIN11 | ネクターズ・ナチュラ・カリヤ |
| ● オーストリア | p6 | MOS01 | キュビキュア |
| ● 韓国 | p33 | MK001 | チョソン・インストルメント |

table of contents

国別目次

| 国名 | ページ | 管理番号 | 企業名 |
|--------|-----|-------|--|
| 韓国 | p34 | MK002 | GBT コリア |
| | p34 | MK003 | TMDラボ |
| | p41 | MK004 | ヤング・ケミカル |
| シンガポール | p20 | MSI01 | グランド・ベンチャー・テクノロジー |
| | p21 | MSI02 | レーザー・テクノロジー |
| | p38 | MSI03 | ネウロ |
| タイ | p24 | MTH01 | 丸紅・タイランド |
| | p24 | MTH02 | チーム・プレジジョン |
| | p25 | MTH03 | テクノ・メディカル |
| | p25 | MTH04 | ペイラー・ヘルス |
| | p26 | MTH05 | M.E.メディテック |
| | p26 | MTH06 | デバイス・イノベーション |
| | p27 | MTH07 | C.C.オートパート |
| | p27 | MTH08 | インテリジェンス・システム・コーポレーション |
| | p28 | MTH09 | CMED メディカル |
| | p39 | MTH10 | ベダリー |
| | p40 | MTH11 | ビー・レディ・インダストリ |
| 台湾 | p31 | MTW01 | クリスタルビュー・メディカル・コーポレーション |
| | p32 | MTW02 | シン・ヤン・シェノ・プレジジョン・インダストリアル |
| | p32 | MTW03 | ヴィスジェネール |
| | p33 | MTW04 | デンタル |
| ドイツ | p5 | MGE01 | シーメンスヘルシニアーズ |
| | p5 | MGE02 | フラウンホーファー・インスティテュート・フォー・セラミック・テクノロジーズ・アンド・システム |
| フィリピン | p30 | MPH01 | グルッポ・EMS・インコーポレイテッド |
| | p31 | MPH02 | ザメツズ・メディカル・システム |
| ベトナム | p28 | MVN01 | ニベクスコ |
| | p29 | MVN02 | チョン・ティン・メディカル・イクイップメント・コーポレーション |
| | p29 | MVN03 | タン・ビェト・マイ・トレーディング・サービス |
| | p30 | MVN04 | ベトナム・テクニク・サイエンス・サービス・アンド・トレーディング・プロダクション |
| | p40 | MVN05 | フック・クワン・コンストラクション・インポート・アンド・エクスポート・カンパニー |
| 香港 | p41 | MHK01 | カルチャー・ホームズ・ヘルスケア |
| マレーシア | p21 | MMA01 | グレーテック・インテグレイション |
| | p22 | MMA02 | シンメトリー・メディカル |
| | p22 | MMA03 | プロフェッショナル・ツール&ダイス |
| | p23 | MMA04 | マレーシアン・ダイアグノスティックス・コーポレーション |
| | p23 | MMA05 | シン・ヨン・グァン・インダストリーズ |
| | p39 | MMA06 | メドクリン |

J-GoodTech(ジェグテック)は、優れた技術・製品・サービスを有する日本の中小企業と海外企業や国内大手企業をつなぐBtoBマッチングサイトです。ウェブ上で、自社情報を掲載し発信する、パートナー候補企業を検索する、またビジネスコミュニケーションを行うなど、海外企業とのビジネスマッチングの機会を提供します。

● お問合せ先：
 販路支援部
 マッチング支援課
 TEL:03-5470-1824



[マッチングシステムの全体像]



海外展開ハンズオン支援



中小企業の海外展開、国際取引等、豊富な実務知識・経験・ノウハウを持つ海外ビジネスの専門家が、経営課題に応じたアドバイスを実施

海外ビジネスナビ



中小企業の海外ビジネスのお悩み解決のヒントになるノウハウ、海外の最新情報を掲載

EC活用支援アドバイス



- 「国内EC」も「越境EC」対応可能なマーケティング支援
- 物流コストは？税金は？返品リスクは？ECの専門家による世界で売っていくためのアドバイスは何度でも利用可能

ebiz



- 中小企業のネットショップ販売成功のヒントを詰め込んだポータルサイト
- ECを始める前に知っておきたい情報が満載！オンライン講座、セミナーやマッチングイベント等無料サービスをご案内



<https://www.smrj.go.jp/>

商談会のお申し込みは、
中小機構が運営するビジネスマッチングサイト **J-GoodTech** で

https://jgoodtech.smrj.go.jp/pub/ja/lp_ceo/medical2023/

海外CEO商談会



参加・申し込みに関するお問い合わせ先はこちらまで

お申し込みは
Webにて受付
(オンライン登録)

医療機器CEO商談会2023運営事務局

Management Office of CEO Business Meeting Event for Medical Equipment Industry 2023

担当：市川、大島、伊藤、土山

TEL: 03-6407-8050 / (平日:10時～17時)

Email: medical-ceo2023@pasia.co.jp

商談会事業に関するお問い合わせ先

独立行政法人 中小企業基盤整備機構 販路支援部 マッチング支援課 担当：打田、井上、安居、小谷、北岡

TEL: 03-5470-2375 Email: ceo-network@smrj.go.jp

住所: 東京都港区虎ノ門3-5-1 虎ノ門37森ビル

主催: 独立行政法人中小企業基盤整備機構

後援: 経済産業省、中小企業庁、独立行政法人日本貿易振興機構、独立行政法人国際協力機構、株式会社日本政策金融公庫、株式会社商工組合中央金庫、日本商工会議所、公益財団法人東京都中小企業振興公社、東南アジア諸国連合貿易投資観光促進センター、信金中央金庫